よむべえスマイル

図解取扱説明書

本書は、2013 年 3 月発売のよむべえスマイルの取扱説明書です。

作成に当たっては最善を尽くしておりますが、誤りを発見したときはアメディアまでご連絡をいただければ幸いです。

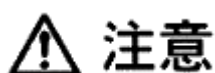
音声拡大読書機「よむべえスマイル」安全上のご注意

◎お使いになる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
◎ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

【 警告表示 】

⚠危険

この表示の注意事項は、火災や感電などの大きな事故の原因をもたらさないための非常に重要な内容です。
注意事項に従っていただけない場合には、火災や感電などのけがや死亡につながる事故を誘発する恐れがございますので、くれぐれも守って頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしたり周囲の家財に損害を与えたりするとがあります。

【 注意記号 】

火災

感電

【 行為禁止記号 】

禁止

分解禁止

水漏れ禁止

強制

接触禁止

本体について

危険

・水をかけたり、濡らさないでください。

水がかかる場所（浴室や台所など）で使ったり、ジュース類等の飲み物がこぼれて内部に水が入ると、火災や感電の原因になります。

万一、水が入ったときは、すぐに電源コードをコンセントからぬき、アメディアにご相談ください。

・指定以外の電源コードはお使いにならないでください。

指定以外の電源コードをお使いになると、火災や感電の原因となります。

・雷が鳴り出したら、「よむべえスマイル」をいったん終了させ、コンセントを抜いて雷がおさまるのをお待ちください。

コンセントが繋がっている状態で落雷にあうと、感電の危険があります。

・電源は交流（ AC ）100V をお使いください。

指定以外の電圧でお使いになると、火災や感電の原因となります。

・濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

・分解、改造しないでください。

内部に異物が入ると、故障や火災・感電の原因となります。点検や修理はアメディアにご依頼ください。

注意

・側面の通気口はふさがないでください。

内部に熱がこもり、正常に動作しなくなります。

・落下させないでください。

高い所などから落ちた場合、破損する恐れがあります。又、破損時の破片などで、人体に傷害を与えることがありますので、ご注意ください。

・衝撃を与えないでください。

精密電子機器ですので、衝撃を与えると機能が失われることがあります。

・上から強く押したり、上に重いものをのせないでください。

上から圧力を加えたり、重いものをのせると破損する恐れがあります。

ユーザー登録について

本機には、ユーザー登録カードが同梱されています。これに必要事項をご記載の上、なるべくお早めに株式会社アメディアまでお送りください。
この登録は、ご購入後のサポートをさせて頂くために必要となるものです。

保証について

よむべえスマイルのメーカー保証はお買い上げ日より 1 年間です。
保証期間中は無償で修理いたします。ただし不適切な利用による物理的な破損（「安全上のご注意」（p.2）参照）の場合および火災または天災による破損を除きます。なお、修理期間中に代替機が必要なときは、レンタル料金 2,100 円で修理が終わるまでお貸し出しいたします。
お買い上げ日より 5 年間の延長保証サービスもございます（48,300 円）。詳しくはアメディアまでお問い合わせください。

よむべえスマイル外形寸法・仕様

型番	YS-1000
外形寸法	260×385×110mm　（幅×奥行×高さ）
重量	6.6kg
消費電力	30 ワット
電源供給	AC100V（50/60Hz）
音声出力	ヘッドホン出力端子（ステレオ）、内蔵スピーカー（モノラル）
外部インターフェース	USB2.0 準拠
光学ドライブ	CD/DVD ドライブ
画像出力	アナログ RGB ミニ D-sub15 ピン
スキャナ部	フラットヘッド型（原稿固定型）
最大原稿サイズ	A4 /レター、216×297mm

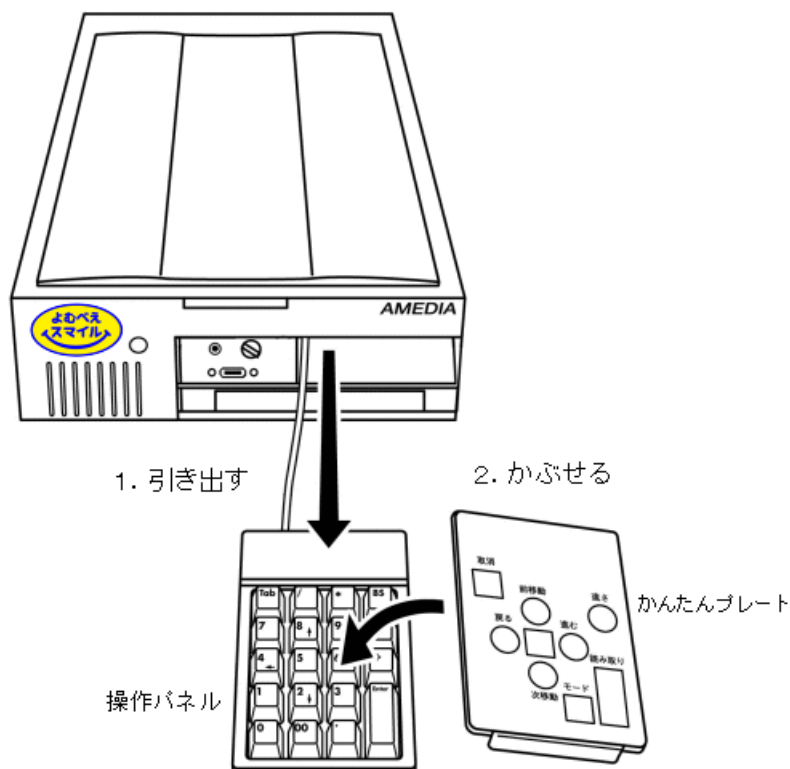
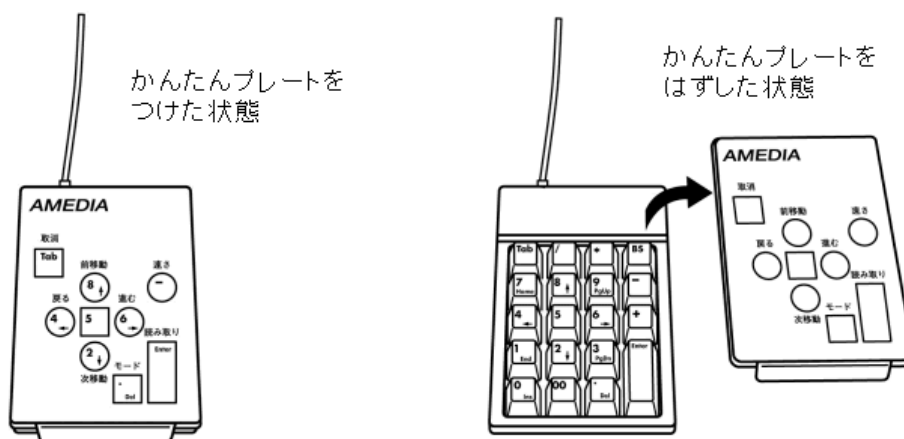
- 製品の仕様および外観は、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本機の故障や不具合などにより、発生した読み取り内容の消去など、付随的損害につきましては、当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

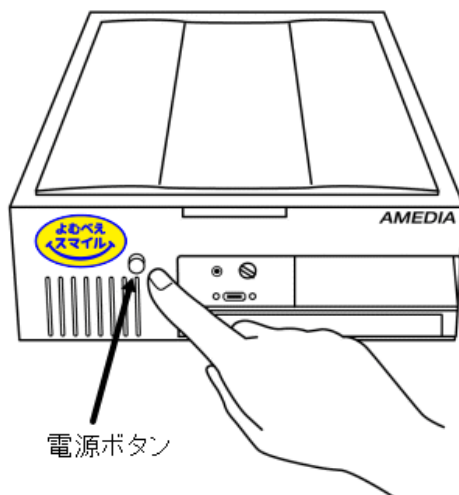
もくじ

第１章　かんたん操作で使う

この章では「よむべえスマイル」のもっとも基本的な使い方を説明します。

1.1. 準備

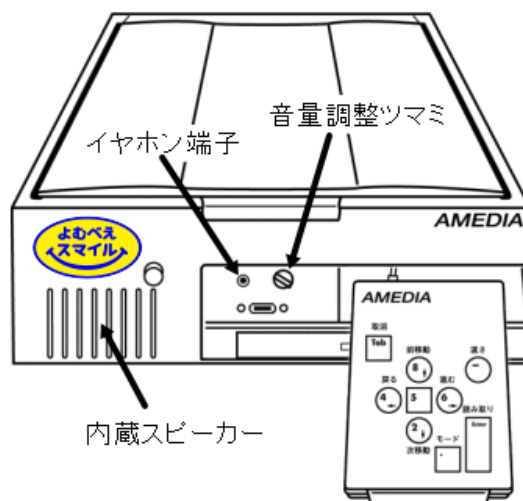
「よむべえスマイル」を使う前に、まず本体前面右下部に納められている『操作パネル』を引き出します。つぎに、付属の『かんたんプレート』を操作パネルの上にかぶせてください。

「よむべえスマイル」では、基本的な操作はすべて『かんたんプレート』上にあるキーでおこなえるようになっています。そのため、はじめてお使いになる方は、まず操作パネル上にかんたんプレートをつけた状態で操作することをおすすめします。

1.2. 開始と終了

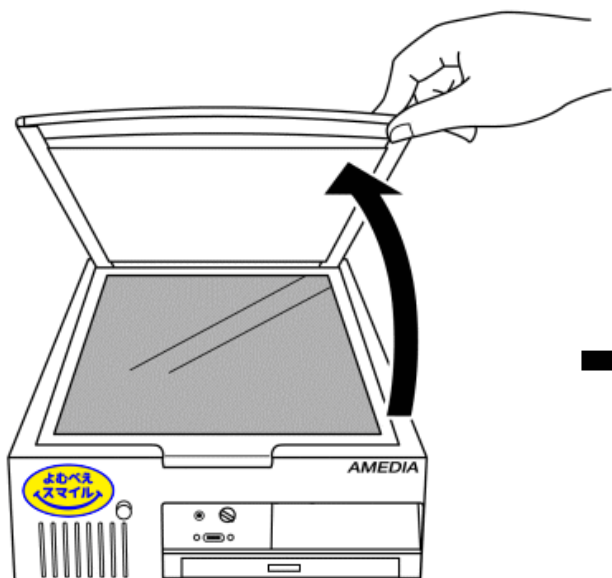
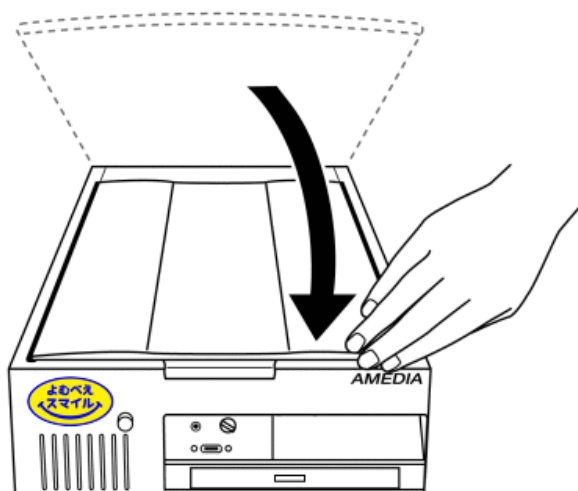
「よむべえスマイル」の開始と終了は、本体前面にある電源ボタンを使います。電源ボタンを押すと1分ほどしてから音楽が流れます。「よむべえスマイル」の電源が入っているときは、本体の側面と背面から送風機（冷却ファン）の音が聞こえています。電源を切るには、もう一度電源ボタンを押してください。

注意

「よむべえスマイル」の起動と終了は、かならず電源ボタンを使っておこなってください。コンセントを直接抜き差しすると、故障の原因となります。

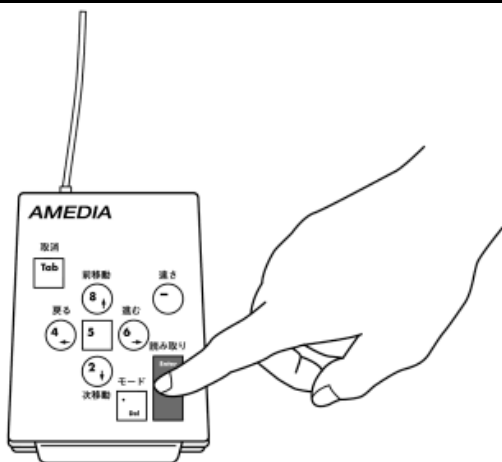
電源ボタンは、一度だけカチリと押せば反応します。電源ボタンを押してもすぐには電源が切れない場合がありますが、これは本機が終了処理をしている最中ですので、そのままお待ちください。

スピーカーについて

よむべえスマイルにはスピーカーが内蔵されています。スピーカーの音量を調節する場合は、本体前面にある 音量調節ツマミを使います。また、本体前面にあるイヤホン端子にはイヤホン・ヘッドホン等を接続することができます。

1.3. 印刷物を読む

よむべえスマイルで印刷物を読むには、まず『イメージスキャナ』のフタを持ち上げて、ガラス面の上に印刷物を置きます。このとき、読みたい面が下向きになるように置いてください。その後、イメージスキャナのフタを閉じます。

①スキャナのフタを開ける　②印刷物を置く

③スキャナのフタを閉じる

キー説明

印刷物を読み上げるには、一番右の手前にある読み取りキー（縦長のキー）を 2 回ポン・ポンと押します。イメージスキャナが動作し、しばらくすると内容を読み上げます。

読み取りキーを押す

ワンポイント

よむべえスマイルでは、いくつかの操作はキーをポン・ポンと２回押してからはじめて動作する仕組みになっています。これは、どのキーにどの操作が対応しているかわからないときに、目的のキーを手さぐりで探しだすためのものです。

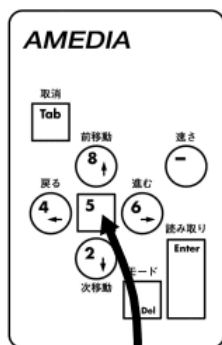
まずキーを１回押すと、そのキーに対応する操作の説明をします。この後、もう一度同じキーを押すと、実際の操作が実行されます。1 回目のキーを押したあとに、何もせずしばらくそのままでいると、この操作は取り消されたことになり、取り消し音がなります。

このように、よむべえスマイルではキーを押したあとに必ずその操作の説明をします。キーを押したために異常な動作をすることはありませんので、遠慮なくいろいろなキーを押して位置を確認してみてください。

1.4. 読み上げの停止と再開

よむべえスマイルは、読み取った印刷物の内容をどんどん読み上げていきます。ページの最後に到達すると、読み上げは自動的に停止します。

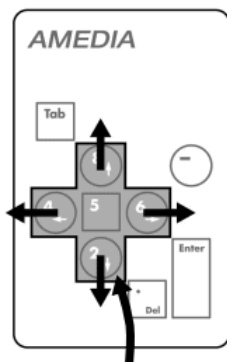
キー説明

途中で読み上げを止めるには、真ん中の四角い穴の中にある<u>停止・再開キー [5]</u> を押します。このキーは 1 回押すだけで動作します。もう一度押すと、停止した位置から読み上げを再開します。

停止・再開キー

1.5. 進む・戻る

真ん中の四角い穴を中心として、上下左右の位置に<u>十字キー</u>が配置されています。よむべえスマイルでは、読み上げ位置の移動はすべてこの 4 つのキーでおこないます。

キー説明

現在読み上げている部分から少し戻るには、<u>左キー [4]</u> を押します。現在読み上げている部分から少し進めるには、<u>右キー [6]</u> を押します。
<u>上キー [8]</u> と<u>下キー [2]</u> は、これよりももう少し大きい幅で進んだり戻ったりします。
印刷物の場合、左右のキーは文節単位の移動になり、上下のキーは、文単位の移動になります。

十字キー

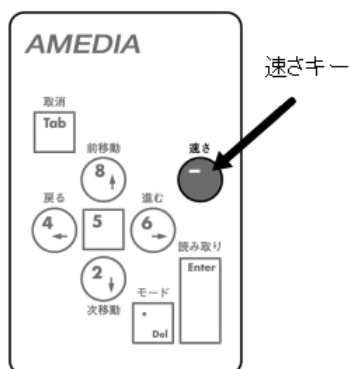
これらのキーはよむべえスマイルの他の操作でも使いますので、「少し進むときは右、少し戻るときは左、ある程度大きく戻るときは上、ある程度大きく進むときは下」というように覚えてください。

1.6. 速度の切り換え

速さキー [−] を使うと、読み上げ音声の速さを変えることができます。

キー説明

読み上げを速くするには、速さキー [−] を 1 回押します。キーを押すたびに、読み上げ速度が少しずつ上がっていきます。読み上げの速度には 10 段階あり、いちばん速い状態までいくと、次はゆっくりした速さに戻ります。

なお、よむべえスマイルの標準では「速さ 3」になっています。

1.7. 現在位置を知る

現在のよむべえスマイルの状態を知るには情報キー [+] を使います。

キー説明

情報キー [+] を 1 回押すと、よむべえスマイルは現在読み上げているページ番号や、ページ中の読み上げ位置を報告します。

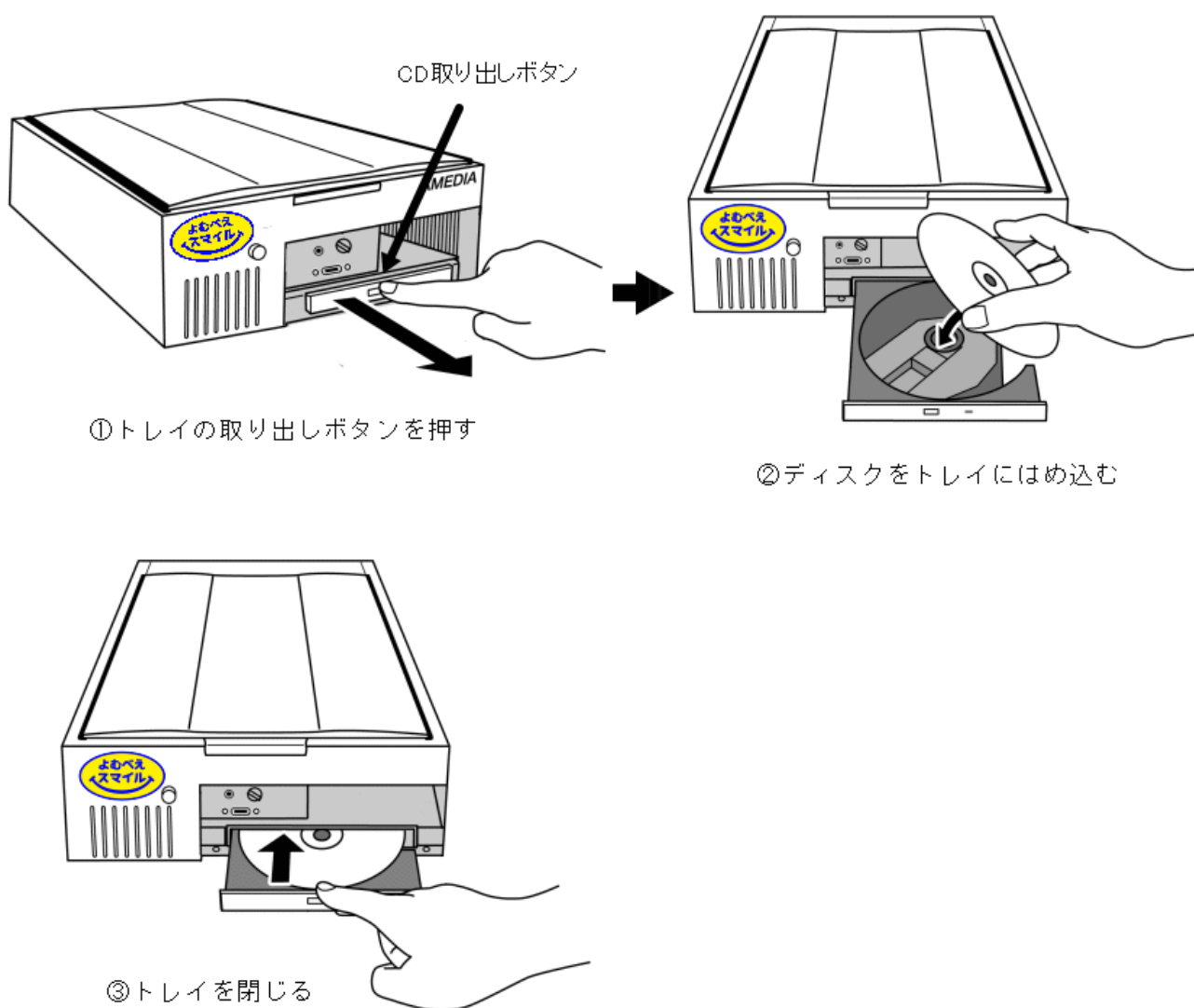
1.8. CD・DVD を聴く（※DVD 再生には画面が必要です）

本体前面の右下部分に『CD トレイ』があります。CD トレイの中央付近に CD 取り出しボタンがあり、これを押すと CD トレイがカシャッという音とともに少し飛び出してきます。

CD や DVD を聴くには、まずこの CD 取り出しボタンを押し、トレイを引き出します。
つぎにディスクの読み取り面を下にして、トレイの中央にある円盤型の回転軸にディスクの穴をはめ込みます。この後、トレイを手で押しこんで、カチッと聞こえたらセットが完了です。しばらくすると自動的に再生を開始します。

①トレイの取り出しボタンを押す

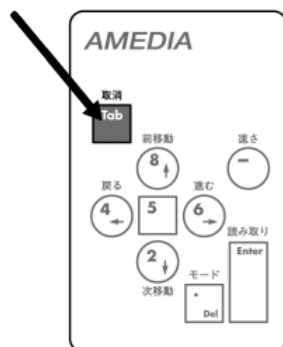
②ディスクをトレイにはめ込む

③トレイを閉じる

CD または DVD の再生をやめるには、上記と同様に CD 取り出しボタンを押してトレイを開け、ディスクを取りはずしてください。

1.9. 操作がわからなくなったとき

よむべえスマイルの操作パネルの左上には取り消しキー Tab があります。このキーはよむべえスマイルの操作を取り消すのによく使いますので、覚えておくとよいでしょう。

キー説明

操作がわからなくなった場合は、取り消しキー Tab を押します。このキーを押すと、よむべえスマイルは現在の動作を中止し、操作前の状態に戻ります。

ワンポイント

よむべえスマイルの状態がどうしても元に戻らない場合は、一度電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。よむべえスマイルは読み取った印刷物をすべて記憶しているため、電源を切っても読み取った内容が消えることはありません。

1.10. オンライン説明書を読む

よむべえスマイルには取扱説明書が収録されており、いつでも読むことができます。

キー説明

オンライン説明書を読むには、まず拡張メニューを開きます。取り消しキー Tab を押しながら、読み取りキーの左隣りにあるモード切り換えキー . を 2 回押します。

「拡張メニュー」というアナウンスがあり、その後、上下のキーで項目が選択できる状態になります。ここで下キー 2 を 1 回押すと「説明書」とアナウンスしますので、この状態で停止・再開キー 5 を押します。説明書の読み上げが始まります。説明書を読むのをやめるには、停止・再開キー 5 を押します。

説明書読み上げのときは、上下のキー 2 8 とページキー 3 9 で内容の区切り目に移動できます。

上下のキーで 1.1.、1.2.というように、節単位で移動します。ページキーで第 1 章、第 2 章というように、章単位で移動します。左右のキー 4 6 は文単位の読み上げです。

説明書を終了させるには、情報キー + を少し長く押しつづけます。すると、以前のモードに戻ります。

第 2 章　いろいろな印刷物を読む

この章では、よむべえスマイルを使っていろいろな印刷物を読む方法を説明します。

2.1. 原稿の置き方

印刷物によっては、原稿の置き方しだいで読み取りの精度を上げることができます。
うまく読ませるためには、まず以下の基本をマスターしておくとよいでしょう。

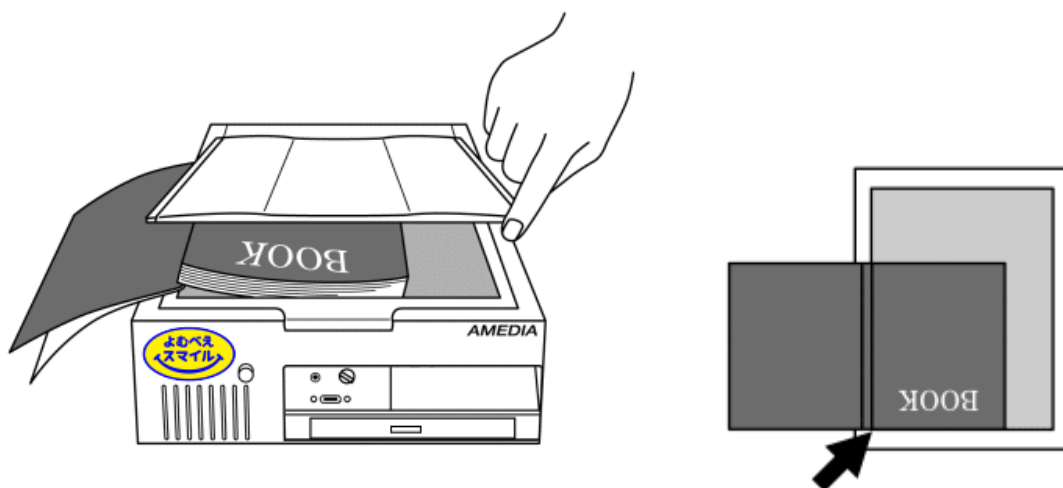
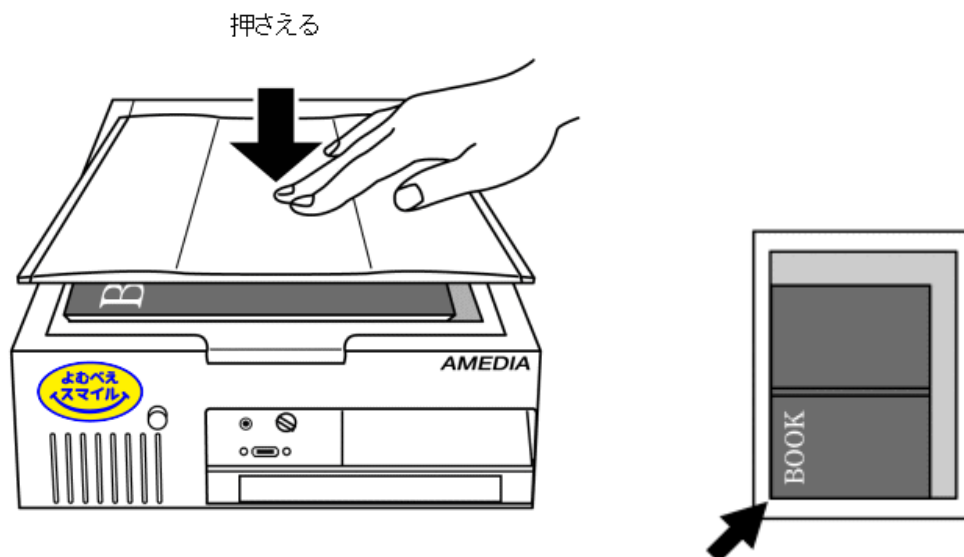
 原稿の置き方のコツ

- 原稿の端をイメージスキャナの左手前隅に合わせるように置く。
- 余計な光が入らないように、イメージスキャナのフタをしっかりと閉める。
- 原稿が浮き上がらないように、フタを上から均等に押さえる。

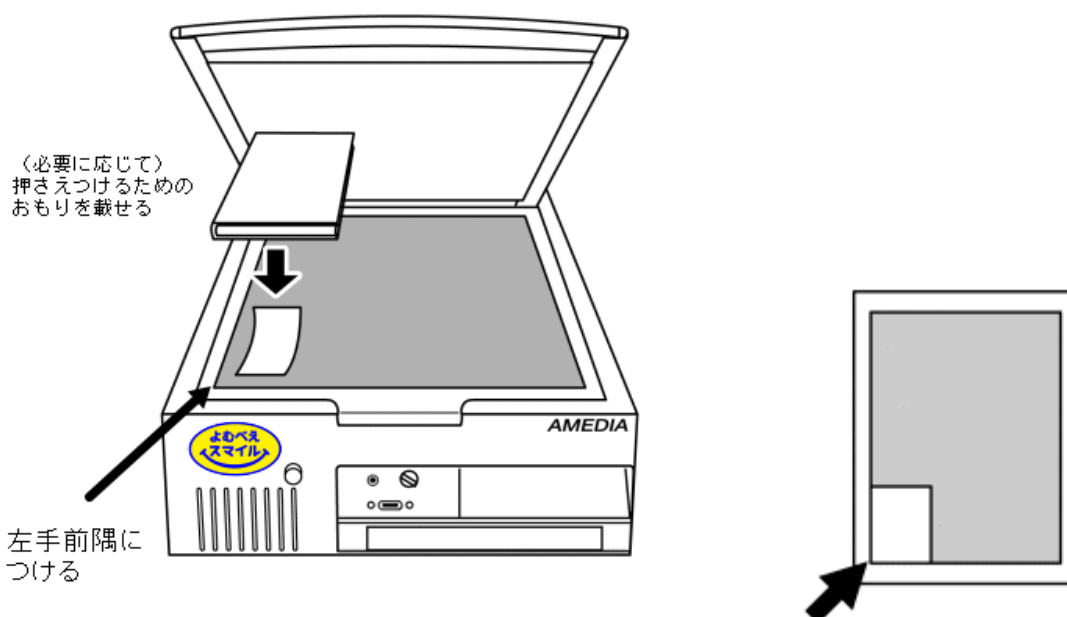
つぎに、各種印刷物を読ませる際の注意点を説明します。

書籍の場合

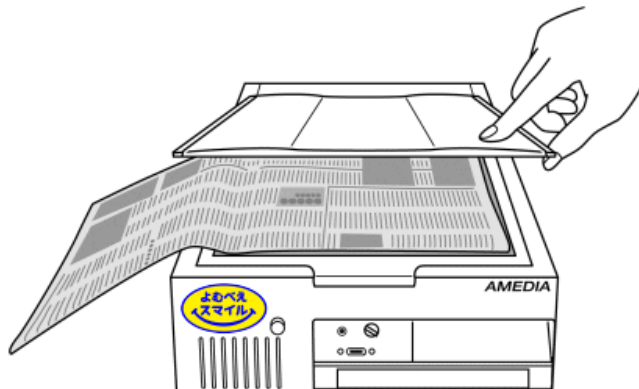
小説などの書籍は、よむべえスマイルがもっとも得意とする印刷物のひとつです。そのため、読み取り精度は通常きわめて高く、読み取った内容をそのまま聴けば内容を理解できます。ただし、図表や数式が入っている教科書や専門用語の多い書籍などは一部、正しく読まない部分もあります。

書籍を読ませる場合は、1 ページずつめくって読み取ります。よむべえスマイルは原稿の向きを自動的に認識しますので、縦書き・横書きの文章にかかわらず正しく読み上げることができます。

文庫本や四六判程度の本であれば、見開きで2ページを一度にスキャンすることもできます。この場合、イメージスキャナのフタは完全には閉じませんので、本を置いた状態でフタを上から押さえるようにしてください。また、本の中央部分がイメージスキャナのガラス面から浮き上がりやすいので注意してください。

> **ワンポイント**
>
> 数十ページ以上の書籍を一度に読み取りたい場合は、「6.1.連続スキャン」(p.41)で説明する連続スキャン機能を使うと便利です。

レシート・請求書などの場合

レシートや請求書などの印刷物は、一般的に文字の書かれている部分が少なく、また使われている紙も小さいことが多いため、少しでも読み取り精度を上げるためにはイメージスキャナの左手前隅にしっかりと揃えることが重要です。また、紙が折れ曲っている場合は、必要に応じて上から文庫本程度の「重石」を載せてもよいでしょう。

レシートや請求書などの印刷物は、通常、数字以外の文字の書かれている部分が少なく、そのまま読み上げただけでは内容がよくわからないことがあります。このようなときは、十字キーを使って、前後の文脈から数字の意味を類推する必要があるかもしれません。また、レシートや請求書を印刷したプリンタの機種によっては、よむべえスマイルで正しく読まないものもあります。

新聞の場合

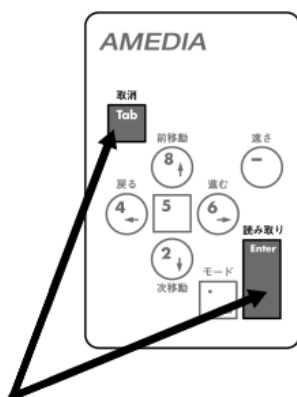
新聞を読ませる際に注意することとして、新聞紙は薄いので、シワがよりやすいということがあります。また束になって折られている新聞紙は折り目の部分がイメージスキャナのガラス面から浮き上がりやすいので、できれば新聞紙を１枚ずつ分けて読み取らせるのが理想です。新聞紙の上からなにか大きめの冊子を載せ、ちょうど新聞紙にアイロンをかけるような要領でゆっくりとシワをのばし、その状態でフタを閉めるのがコツです。

よむべえスマイルは、理想的な状態で読み取りがおこなわれれば、新聞記事をある程度正しく読み上げます。しかし、途中に折れて盛り上がっている部分やインクのかすれている部分があると、正しく読まないことがあります。また、記事のレイアウトの関係で、読み上げる順番を間違えることもあります。

2.2. 手書き文字を読む

よむべえスマイルには手書き文字を認識する機能があります。 手紙やメモなど、手書きの文字が書かれていると思われる場合には『手書きスキャン』という機能を使うことで、 手書きの文字も通常の活字と同様に読み上げることができます。

キー説明

手書きスキャンを実行するには、取り消しキー Tab を押しながら読み取りキー Enter を ２ 回押します。

1．取り消しキーを押しながら

2．読み取りキーを2回押す

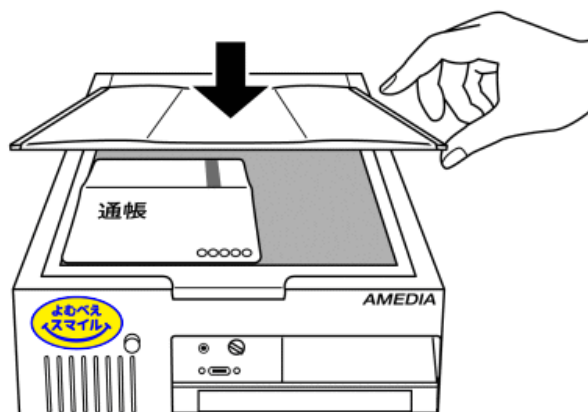
注意

手書き文字の読み取り精度は、各個人の文字のクセによってばらつきがあります。

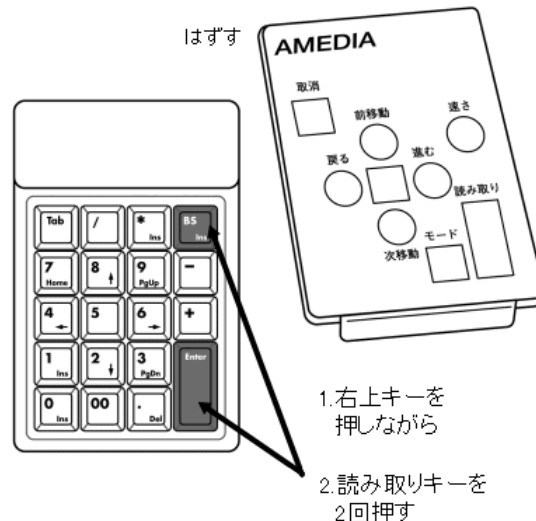
ワンポイント

手書きスキャンでは、活字と手書き文字が混在する印刷物も正しく読み取ることができます。また、縦書き・横書きのどちらにも対応しています。ただし、手書きスキャンは通常の読み取りよりも長い時間がかかりますので、まず通常の読み取り操作を実行してみて、手書き文字が書かれていると思われるときのみ手書きスキャンをおこなうのがよいでしょう。

2.3. 銀行通帳を読む

よむべえスマイルには、通常の印刷物とは別に、『通帳スキャン』と呼ばれる通帳を読むための特別の機能がついています。なるべく通帳の上側がイメージスキャナの手前側にくるようにガラス面にセットします。また、通帳の綴じてある真ん中の部分は浮き上がりやすいので、読み取り中はイメージスキャナのフタをしっかり抑えて、通帳が浮き上がらないようにしてください。

通帳を置いたら、通帳スキャン機能を実行します。

キー説明

通帳スキャンを実行するには、操作パネルの右上端にある補助キー［BS］を押しながら読み取りキー［Enter］を２回押します。

注意

通帳スキャンは通常の読み取りよりも長い時間がかかります。読み取り完了のアナウンスがあるまでは、通帳を動かさないよう注意してください。

読み取りが完了すると、まず通帳の最後の行に書かれている残高が「最新の残高」としてアナウンスされます。次に、通帳の最初の行から順に読み上げが始まります。通帳の読み上げは他の文書と違い、通帳の各行ごとにそれぞれ日付、残高、備考が読み上げられます。「備考」とは、日付と残高の欄以外に書かれている部分です。備考欄に書かれているのは、おもに名目や引き出し額、支店名といったものですが、実際の内容はお使いの銀行通帳によって異なります。

よむべえスマイルは、残高の数字に自信がない場合、1 桁ずつ読み上げます。

たとえば「1200 円」の 3 番目のゼロが「○（まる)」として認識された場合などは、「1、2、まる、ゼロ」のように発音します。

ワンポイント

よむべえスマイルは通常読み取ったページをすべて保管していますが、銀行通帳は通常の文書とは分けて管理され、「通帳ページ」と呼ばれる特別な文書で管理されます。
電源を切るとこれら銀行通帳の内容はすべて消去され、銀行口座に関する情報がよむべえスマイル内部に保存されることはありません。

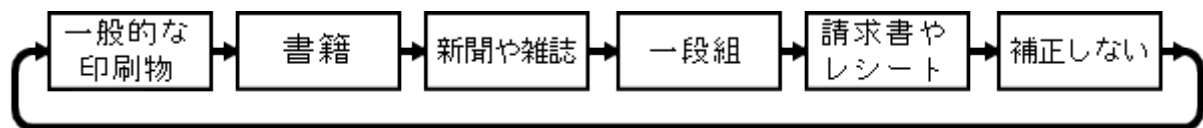
2.4. ページ補正をおこなう

よむべえスマイルでは、通常存在するあらゆる印刷物にまんべんなく対応できるような方法で読み上げをおこないますが、 印刷物によっては、この読み上げがわかりにくい場合があります。 このような場合、よむべえスマイルでは特定の方法で『ページ補正』を おこなうことによって、そのページをよりわかりやすい方法で 読み上げることができます。

キー説明

いま読んでいるページの補正方法を変更するには、操作パネルの右上端にある補助キー を押しながら情報キー を押します。

このキーを押すたびに、ページ補正の方法が「一般的な印刷物」→「書籍」→「新聞や雑誌」→「一段組」→「請求書やレシート」→「補正しない」の順に変わります。

決定したいところで読み取りキー を押すと、補正方法が決定され、現在のページがその方法に補正されて読み上げられるようになります。

ページ補正の方法には、以下のものがあります:

- 一般的な印刷物 … よむべえスマイルの通常の方式です。印刷物の種類にかかわらず、よむべえスマイルが自然であると認識した順序で読み上げをおこないます。
- 書籍 … 小説など、文章が中心の印刷物を読むときに使います。よむべえスマイルは各ページに書かれているページ番号や見出し部分を省いて読み上げます。
- 新聞や雑誌 … 新聞など、段組みが複雑な印刷物を分析して読み上げます。
- 一段組み … メニューなどの箇条書きや詩集など、一段組で書かれた文書に適しています。
- 請求書やレシート … 数字が多く書かれているものや、表形式のものを読むときに使います。
- 補正しない … いっさいのページ補正をおこなわず、生の認識結果をそのまま読み上げます。

ワンポイント

あるページ補正方法でうまく読まない場合は、別のページ補正に切り換えてみてください。

注意

ページ補正を「新聞・雑誌」にした場合は、読み上げまでに時間がかかる場合があります。
故障ではありませんので、そのまま読み上げが始まるまでお待ちください。

2.5. 漢字の詳細読み

よむべえスマイルはときどき漢字を間違えて読むことがあります。また、同じ読みをもつ異なる漢字からなる単語で、音声で読んだだけでは区別できない単語もあります（たとえば「公海」「黄海」「紅海」など）。このような場合、よむべえスマイルでは漢字の『詳細読み』という操作を使って、漢字を 1 文字ずつ細かく読み上げることができます。

> **キー説明**
>
> 漢字の詳細読みをおこなうには、取り消しキー Tab を押しながら左キー 4 または右キー 6 を押します。

漢字の詳細読みをおこなう場合、よむべえスマイルは通常の文よりもさらに細かい単位で移動します。よむべえスマイルは現在読み上げている文字の位置を覚えており、この後、続けて取り消しキー Tab を押しながら左キー 4 を押すとひとつ前の文字を、右キー 6 を押すとひとつ次の文字を読み上げていきます。

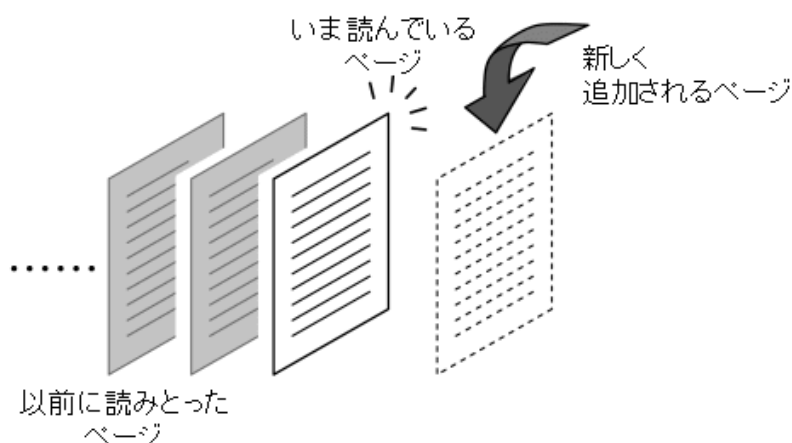
詳細読みをやめるには、上キー 8 または下キー 2 、あるいは停止・再開キー 5 を押すと、通常の文を読み上げる状態に戻ります。

第 3 章　印刷物の保存と管理

この章では、読み取った印刷物を活用するいろいろな方法を説明します。

3.1.　以前に読み取った内容を読む

ページの移動

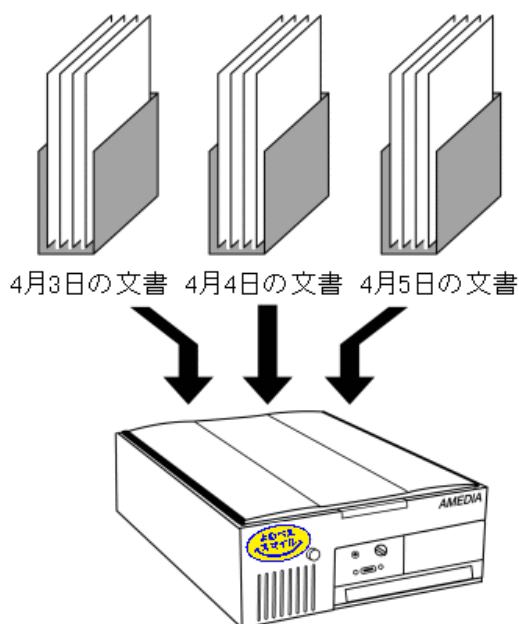
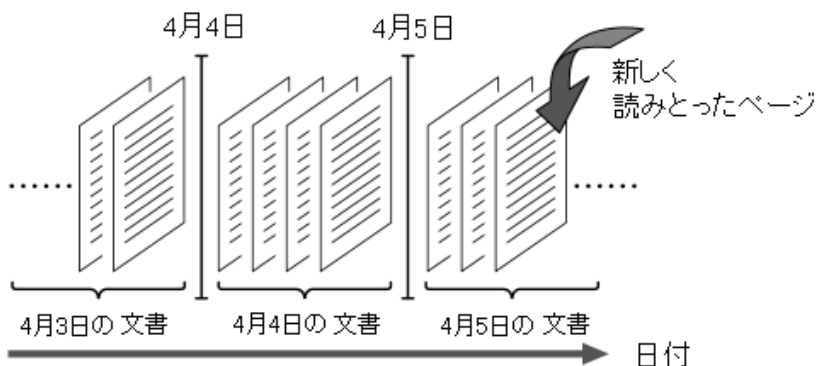
よむべえスマイルでは、1 回の読み取り操作で取得した印刷物の内容はすべて『ページ』という単位で保存されています。毎回、読み取りをおこなうたびに、新しいページが追加されます。前に読み取った内容をふたたび聴きたい場合には、『ページの移動』という操作をおこないます。こうすることにより、よむべえスマイルが現在読んでいるページを切り換えることができます。

キー説明

ひとつ前のページを読み上げるには、パネル中央右上にある前ページキー 9 を押します。
ひとつ次のページを読み上げるには、パネル中央右下にある次ページキー 3 を押します。

注意

『ページの移動』は、現在の文書（後述）内のページにのみ移動します。別の文書に入っているページを読み上げるには、次で説明する『文書の移動』をおこなってください。

文書の移動

よむべえスマイルは、それまでに読み取った印刷物の内容（ページ）をすべて保存しています。これらはあとからもう一度読み上げることができるようになっていますが、保存されるページの数が増えてくるとわかりにくくなってきます。このため、よむべえスマイルでは各ページを『文書』というまとまりに分けてあります。文書は、ページの束のようなものと考えてください。各文書は日付ごとに名前がつけられており「〇月〇日の文書」のように呼ばれます。たとえば 4 月 4 日によむべえスマイルを起動し、5 枚（5 ページ分）のチラシを読み取ってから電源を切ったとすると、4 月 4 日の文書にはこの 5 ページが入ることになります。このように、ある日に読み取った印刷物をよむべえスマイル上で文書として保存しておけば、あとでこれらをひとつの「まとまり」として読み上げることができます。

よむべえスマイルは 1 日 1 回、最初のページを読み取る前に「新しい文書を作成します」とアナウンスします。このとき新しい文書が作成され、以後、読み取ったページはすべてこの文書に格納されます。通常は電源を切るまでこの文書が「開かれた」状態になっています。読み取ったページは、つねに開かれている文書に追加されます。

ワンポイント

よむべえスマイルでは、日付以外の方法で文書を分けることもできます。詳しくは「新しい文書の作成」（p.44）を参照してください。

現在開かれている文書内のページは、前述のページの移動を使って読み上げることができます。しかし、前の日に読み取った文書のページを読み上げることはできません。別の文書のページを読み上げるには、現在の文書を閉じて別の文書を開く必要があります。これを『文書の移動』と呼びます。
たとえば「4 月 5 日の文書」が開かれている状態で、ひとつ前の文書に移動すると、4 月 5 日の文書が閉じられ、「4 月 4 日の文書」が開かれます。この後、4 月 4 日に読み取った内容を読み上げたり、この文書に対してさらにページを追加したりすることができます。

キー説明

ひとつ前の文書に移動するには、取り消しキー Tab を押しながら前ページキー 9 を 2 回押します。
ひとつ次の文書に移動するには、取り消しキー Tab を押しながら次ページキー 3 を 2 回押します。

注意

よむべえスマイルでは、新しく読み取ったページは、現在開いている文書の末尾に追加されます。
別の文書に移動してからページを読み取った場合、そのページは現在開かれている文書に追加されますので注意してください。

3.2. 読み取った内容を削除する

よむべえスマイル内部には大量の情報を保持することができますので、通常は読み取ったページを消す必要はありません。しかし、そのページがとくに必要ない場合は『ページの削除』という操作をおこなうと読み取った内容を削除することができます。

キー説明

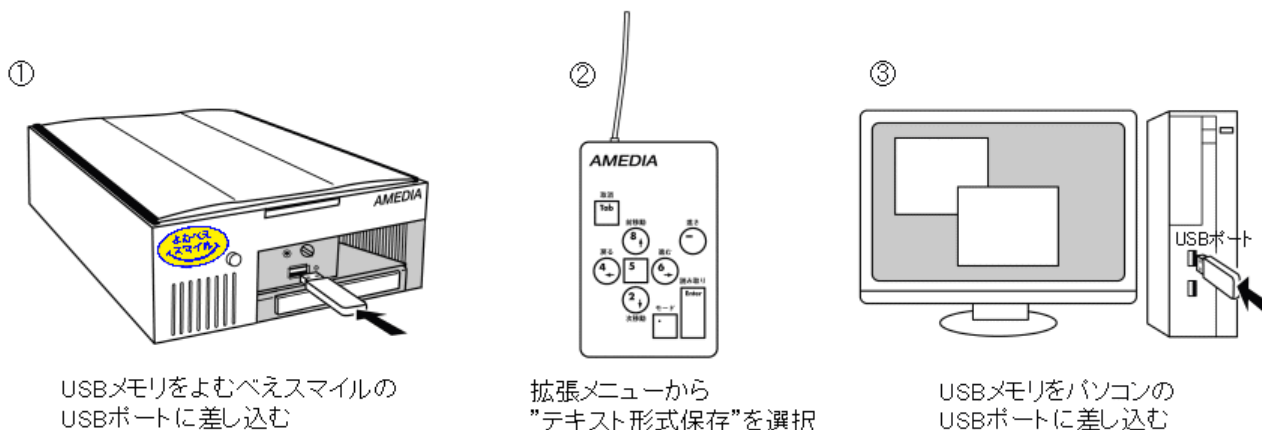
現在読んでいるページを削除するには、補助キー BS を押しながら前ページキー 9 を 2 回押します。1 回押すと「ページ削除」とアナウンスされ、2 回押した時点で本当の削除がおこなわれます。
ページを削除したあとは、前のページが表示されます。その文書にページがひとつもなくなった場合は「ページがありません」とアナウンスされます。

3.3. よむべえスマイルの文書をパソコンで使用する

パソコンをお持ちの方は、よむべえスマイルで読み取った印刷物の内容をパソコン上で使用することができます。この操作をおこなうには、市販の『USB メモリ』が必要です。まず、USB メモリをよむべえスマイルの『USB ポート』に差し込み、『テキスト形式保存』という操作を実行します。その後、USB メモリをパソコンに差し込むと、パソコン上から保存した内容を『テキスト形式』のファイルとして「メモ帳」などのアプリケーションで開くことができます。

USBメモリをよむべえスマイルのUSBポートに差し込む

拡張メニューから"テキスト形式保存"を選択

USBメモリをパソコンのUSBポートに差し込む

テキスト形式保存をおこなうには、『拡張メニュー』という機能を使います。よむべえスマイルでは、あまり頻繁におこなわない操作は拡張メニューを呼び出して実行します。

キー説明

拡張メニューを呼び出すには、取り消しキー [Tab] を押しながら、読み取りキーの左隣りにあるモード切り換えキー [・] を 2 回押します。

「拡張メニュー」というアナウンスがあり、その後、上下のキーで項目が選択できる状態になります。ここで下キー [2↓] を数回押すと「テキスト形式保存」とアナウンスしますので、この状態で停止・再開キー [5] を押します。

ワンポイント

拡張メニューには、通常あまり使われない操作の一覧がまとめられています。
本章で触れられている以外の機能に関しては、「第 6 章上級者向け機能」(p.41) および「付録 B 拡張メニュー操作一覧」(p.63) を参照してください。

注意

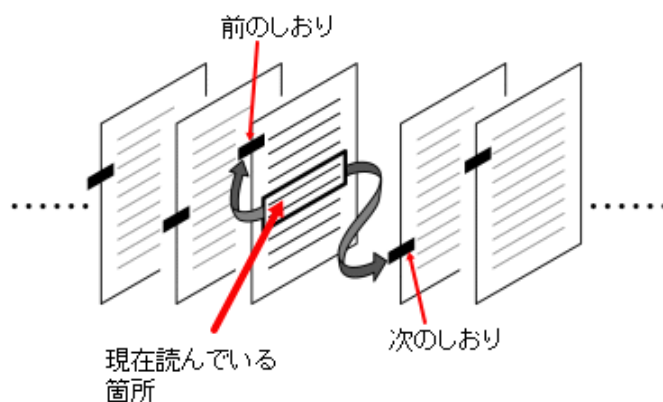
パソコン上でテキスト形式のファイルを音声で読み上げるには、別途ソフトウェアが必要です。詳しくはアメディアまでお問いあわせください。

3.4. しおりを使う

重要な印刷物を読み取ったときや、文書の中のある部分をあとから何度も読みたいときは、『しおり』というものを使います。よむべえスマイルでは、ページにしおりをつけておくと、あとからその箇所へかんたんにジャンプできます。

キー説明

現在読んでいる箇所にしおりをつけるには、しおりキー [/] を 2 回押します。

しおりはひとつの文書につき何箇所でもつけることができ、その位置は電源を切った後も保存されます。文書中のどこにいても、しおりのついた箇所には瞬時にジャンプできます。

キー説明

しおりのついた箇所にジャンプするには、前ジャンプキー [7] または次ジャンプキー [1] を使います。

前ジャンプキー [7] を 2 回押すと、現在読んでいる箇所よりも前にあるしおりにジャンプします。次ジャンプキー [1] を 2 回押すと、現在読んでいる箇所よりも後にあるしおりにジャンプします。

ワンポイント

よむべえスマイルのしおりは、通常の書籍と違って、各ページではなく、個々の文につけることができます。そのため、ひとつのページに複数のしおりをつけることも可能です。

すでにしおりのついている箇所でもう一度しおりキー [/] を押すと、そのしおりは削除されます。

3.5. 特定の文書・ページに移動する

よむべえスマイルを長く使っていくうちに、多くの文書がよむべえスマイル内部に蓄積されています。「前の文書」「次の文書」の操作を使って、これらの文書をひとつずつ戻っていくのは大変です。ここでは、過去に読み取った文書から自分が読みたい文書を探しだすための機能を説明します。

キー説明

文書選択をおこなうには、情報キー を 2 秒ほど押しつづけます。「文書一覧メニュー」というアナウンスのあと、文書が選択できる状態になります。

文書選択をしている状態では、上下のキーを使ってひとつ前の文書、ひとつ後の文書を選択します。各文書に対して、よむべえスマイルは名前と更新日時をアナウンスします。移動したい文書が決まったら、そこで停止・再開キー を押すとその文書に移動します。

また、ひとつの文書内に多くのページがあるときは、特定のページ番号を指定して移動できる機能が用意されています。この操作は、拡張メニューを使っておこないます。

キー説明

ページ指定移動をおこなうには、まず拡張メニューを呼び出します。取り消しキー を押しながら、読み取りキーの左隣りにあるモード切り換えキー を 2 回押します。

「拡張メニュー」というアナウンスがあり、その後、上下キーで項目が選択できる状態になります。ここで下キー を数回押すと「ページ指定移動」とアナウンスしますので、この状態で停止・再開キー を押します。

この後、ページ番号が入力できる状態になります。ここでは、よむべえスマイルのテンキーを通常の数値キーと同じように使ってページ番号を入力します。ページ番号を入力したら、読み取りキー を押すとそのページに移動します。

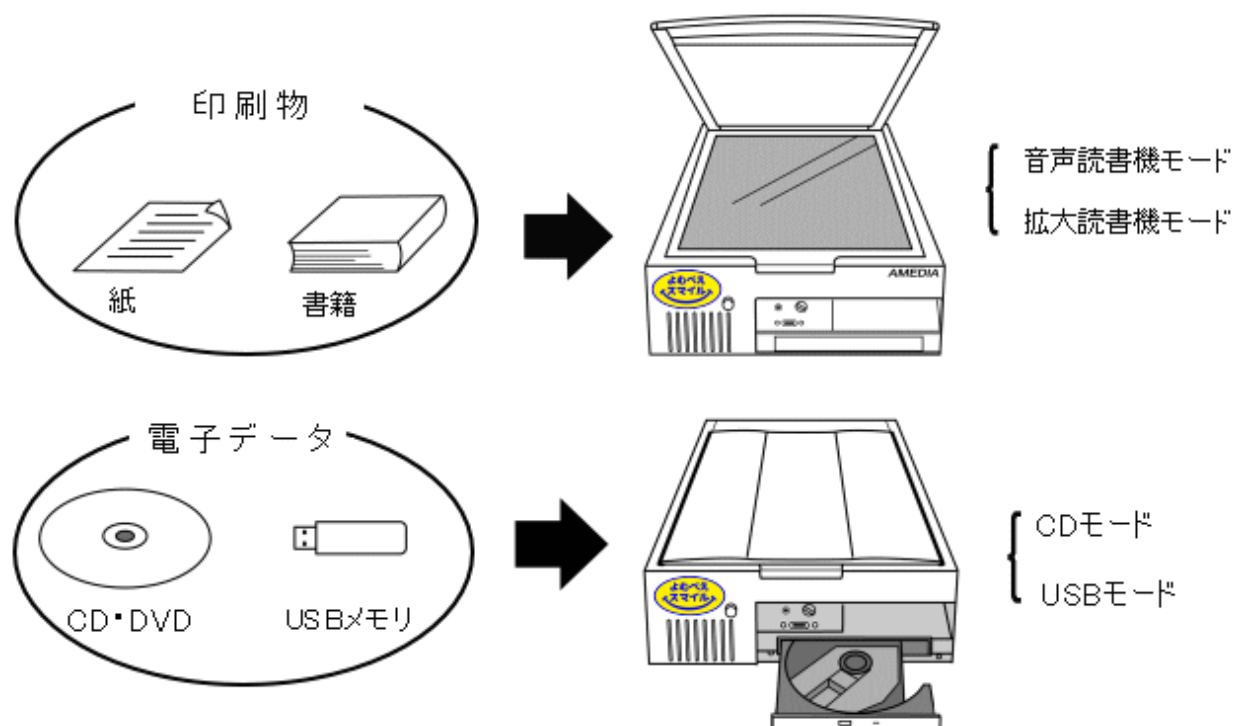
注意

よむべえスマイルのテンキーに書かれている数字は、通常の電話機の番号とは上下の位置が逆なので注意してください。よむべえスマイルでは、左手前隅がゼロのキーで、その上の列が 1,2,3、その上の列が 4,5,6 …という順序になっています。

第４章　CD・DVD・USBメモリの内容を聴く

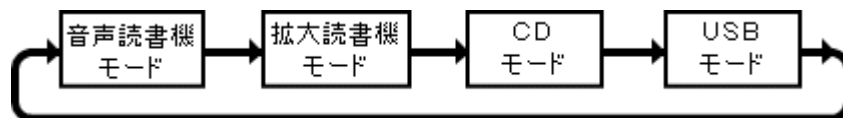
この章では、CD や DVD、USB メモリの内容をよむべえスマイルで聴くための方法を説明します。

4.1. よむべえスマイルの動作モードを切り換える

よむべえスマイルには 4 種類の『動作モード』があります。それぞれ、『音声読書機モード』『拡大読書機モード』『CD モード』および『USB モード』です。よむべえスマイルでは、必要に応じてこれらのモードを切り換えて使用します。通常、電源投入時は「音声読書機モード」になっています。イメージスキャナで読み取った印刷物を読み上げる場合は、「音声読書機モード」または「拡大読書機モード」を使います。いっぽう、CD や DVD、USB メモリなどに格納された電子データを再生する場合は、「CD モード」または「USB モード」を使います。（以下、この章ではこれら 2 つのモードをまとめて『CD・USB モード』と呼びます。）

よむべえスマイルは、電源投入時には「音声読書機モード」または「拡大読書機モード」のどちらかになっています。CD や DVD や USB メモリの内容をよむべえスマイルで聴く場合は、まずよむべえスマイルを「CD モード」または「USB モード」に切り換える必要があります。

キー説明

現在のモードを切り換えるには、読み取りキーの左隣りにあるモード切り換えキー を押します。

このキーを押すたびに、よむべえスマイルは「音声読書機モード」→「拡大読書機モード」→「CD モード」→「USB モード」という順序でモード名を読み上げていきます。目的のモード名に合わせて読み取りキー を押すと、その動作モードに切り換ります。

ワンポイント

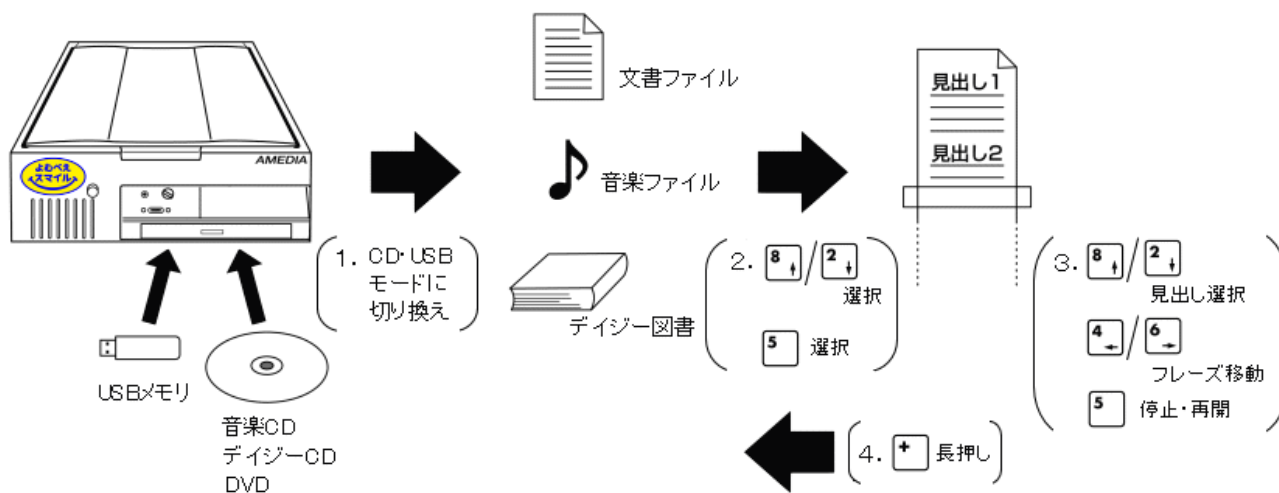
CD または、DVD をトレイに挿入すると、よむべえスマイルは何もキーを操作しなくても自動的に「CD モード」に切り換ります。

4.2. CD・USB モードの流れ

CD・USB モードでは、よむべえスマイルは挿入された CD・DVD または USB メモリの種類を自動的に判別します。
現在、よむべえスマイルが対応している CD・DVD または USB メモリの種類は以下のとおりです。

- 音楽 CD
- DVD ビデオ（家庭で録画されたものを除く）
- デイジー図書（CD または USB に格納されたもの）
- パソコン用データ（CD または USB に格納されたもの）

一部の携帯型デイジープレイヤーは、よむべえスマイルで USB メモリとして認識できます。
この場合、その携帯型デイジープレイヤーをよむべえスマイルに接続すると、その中に格納されているデイジー図書を再生することができます。
よむべえスマイルが対応している携帯型デイジープレイヤーの一覧については、「付録 E よむべえスマイルでサポートする携帯型デイジープレイヤー一覧」（p.67）をご覧ください。

CD・USB モードでは、挿入した CD・DVD または USB メモリの内容によって操作方法が若干変わりますが、基本的な流れはおおむね次のようになっています。

1. まず、よむべえスマイルに CD・DVD または USB メモリを挿入し、CD・USB モードに切り換えます。
2. 上キー と下キー を使って、聴きたい文書、曲またはデイジー図書を選択し、停止・再開キー で決定します。
3. 十字キー（上下左右キー）と停止・再開キー を使って、曲または文書の聴きたい箇所に移動します。
4. 情報キー を 2 秒ほど押しつづけると、再生が停止し、文書または図書の選択状態に戻ります。
5. 再生が終わったら、よむべえスマイルから CD・DVD または USB メモリを取り出します。

4.3. デイジー図書を聴く

『デイジー図書』とは、点字図書館などで貸し出されている CD 形式の録音図書です。
デイジー図書がよむべえスマイルに挿入されると、よむべえスマイルはまず「デイジー図書です」とアナウンスします。複数のデイジー図書が入っている CD の場合、ここで聴きたい図書を選択します。
デイジー図書が 1 つしか入っていない CD あるいは USB メモリの場合、よむべえスマイルは自動的に図書の再生を開始します。

キー説明

複数のデイジー図書がある場合、上キー [8] と下キー [2] を使って再生したい図書を選択し、停止・再開キー [5] で決定します。

ワンポイント

以前によむべえスマイルで再生したことのあるデイジー図書をふたたび挿入すると、よむべえスマイルは前回止めた場所から再生を続行します。

デイジー図書の再生中は、以下のキーで再生している箇所を移動することができます。

- 上キー [8] ／ 下キー [2] … 前の見出しへ戻る／次の見出しへ進む。
- 右キー [6] ／ 左キー [4] … 次のフレーズへ進む／前のフレーズへ戻る。
- 停止・再開キー [5] … 再生を停止、あるいは再開する。

デイジー図書の再生をやめるには、よむべえスマイル前面の CD 取り出しボタンを押して CD を取り出します。複数の図書が入っているデイジーCD の場合は、情報キー [+] を使うと別の図書を再生することができます。

キー説明

現在の図書の再生を中止し、別の図書を選択するには、情報キー [+] を 2 秒間ほど押しつづけます。再生が停止し、図書の選択状態に戻ります。

4.4. 音楽 CD を聴く

音楽 CD がよむべえスマイルに挿入されると、よむべえスマイルは「音楽 CD です」とアナウンスします。この後、曲の数と合計時間がアナウンスされ、自動的に再生が始まります。

以前によむべえスマイルで再生したことのある音楽 CD をふたたび挿入すると、よむべえスマイルは前回止めた場所から再生を続行します。

音楽 CD の再生中は、以下のキーで再生している箇所を移動することができます。

- 上キー 8 ／ 下キー 2 … 前の曲へ戻る／次の曲へ進む。
- 右キー 6 ／ 左キー 4 … 早送り／巻き戻し。（押している間のみ）
- 停止・再開キー 5 … 再生を停止、あるいは再開する。

音楽 CD の再生をやめるには、よむべえスマイル前面の CD 取り出しボタンを押して CD を取り出します。

CD・DVD を再生している時でも、読み取りキー を 2 回押すと、よむべえスマイルは音声読書機モードに戻り、印刷物の読み取りを開始します。

4.5. DVD ビデオを見る（※DVD 再生には画面が必要です）

DVD ビデオがよむべえスマイルに挿入されると、「DVD ビデオです」とアナウンスし、自動的に再生を開始します。

> ⚠ **注意**
>
> よむべえスマイルで再生できる DVD は、日本（地域コード 2）向けに製作された DVD ソフトのみです。これ以外の地域向けに製作された DVD や、テレビ番組を録画した DVD（DVD-VR）は再生できません。

DVD ビデオに収められた映画は、通常『タイトル』（題目）と 呼ばれる大きな区切りに分けられています。各タイトルには、さらに いくつかの 『チャプター』（章）と呼ばれる区切りが ついている場合もあります。DVD の再生中は、以下のキーで 再生している箇所を移動することができます。

- 上キー 8 ／ 下キー 2 … 前のチャプターへ戻る／次のチャプターへ進む。
- 右キー 6 ／ 左キー 4 … 早送り／巻き戻し。（押している間のみ）
- 停止・再開キー 5 …再生を停止、あるいは再開する。
- 情報キー + （長押し）… DVD メニューを表示する。

DVD メニュー表示中の操作

DVD には通常『DVD メニュー』 が含まれています。 DVD メニューはいくつかの「ボタン」からなっており、 一般に市販されている DVD ソフトの多くは、 各ボタンを選ぶことで再生箇所の選択や音声・字幕の切り換えをおこないます。 よむべえスマイルでは、DVD メニューのボタン操作をテンキーを使って 音声でおこなえるようになっています。

DVD のメニューが表示されると、よむべえスマイルはまず 「メニュー」とアナウンスします。
この後、ボタンの個数がアナウンスされ、現在選択されているボタンの番号が 「1」「2」のような数値で読み上げられます。ここでは、以下のキーを使って ボタンを選択できます。

- 上キー 8 ／ 下キー 2 … 次のボタンへ移動する／前のボタンへ移動する。
- 停止・再開キー 5 … 現在選択中のボタンを確定する。

ボタンを選択すると、それに対応した特定の機能が実行されます。 これらはタイトル中の特定の箇所から再生を開始したり、 現在の二ヶ国語音声や字幕を切り換えるといったものです。 あるボタンを選択した結果、さらに別のメニューが現れることもあります。

注意

DVD メニューの内容はコンテンツの製作者によって異なっており、 ボタンの順番や機能など、ソフトによってかなりの差があります。 よむベえスマイルでは DVD メニューのボタンの内容を音声で読み上げることはできないため、 個々のボタンがどのような機能に対応しているかを知ることはできません。 各 DVD ソフトのメニューの使い方は、 DVD ソフト製作メーカーにお問い合わせください。

音声・字幕の変更

DVD ソフトによっては、 二ヶ国語以上の複数の音声や字幕が記録されている場合があります。 このような場合は、拡張メニューを使って再生・表示する音声や字幕を 切り換えることができます。

キー説明

再生中の音声を切り換えるには、まず拡張メニューを呼び出します。取り消しキー [Tab] を押しながら、読み取りキーの左隣りにあるモード切り換えキー [・] を 2 回押します。

「拡張メニュー」というアナウンスがあり、その後、上下キーで項目が選択できる状態になります。ここで下キー [2↓] を数回押すと「音声の設定」とアナウンスしますので、この状態で停止・再開キー [5] を押します。字幕を変更する場合は、その次の項目である「字幕の設定」を選んでください。

この後、音声あるいは字幕の選択肢が表示され、それらを選択すると再生中の音声あるいは字幕が変更されます。

4.6. パソコン用 CD・USB メモリの内容を聴く

よむべえスマイルの CD モードまたは USB モードは、音楽やデイジー図書といった CD のほかに、CD や USB メモリに入っているパソコン用のデータも再生することができます。
パソコンのデータにはさまざまな形式がありますが、よむべえスマイルは CD や USB メモリに入っている内容を認識し、そのデータに合った再生方法を自動的に選択しますので、どんなデータでもほぼ同じ操作で再生することができます。現在、サポートされているパソコンのファイル形式については、「付録 D.よむべえスマイルでサポートするファイル形式一覧」（p.67）を参照してください。

パソコン用のデータが入った CD がよむべえスマイルに挿入されると、よむべえスマイルは「一般的なデータ」とアナウンスします。この後、CD に格納されているファイルの中から、再生するファイルを選択します。

再生するファイルを選択するには、上キー [8] と下キー [2] を使います。
停止・再開キー [5] を押すとそのファイルの再生を開始します。

ファイルの再生中は、以下のキーで再生箇所を移動することができます。

- 前ページキー [9] ／ 次ページキー [3] … 前のページへ戻る／次のページへ進む。
- 上キー [8] ／ 下キー [2] … 前の見出しへ戻る／次の見出しへ進む。
- 右キー [6] ／ 左キー [4] … 次のフレーズへ進む／前のフレーズへ戻る。
- 停止・再開キー [5] … 再生を停止、あるいは再開する。

ファイルの選択状態に戻るには、情報キー [*] を長押しします。
ファイルの再生をやめるには、よむべえスマイル前面の CD 取り出しボタンを押して CD を取り出します。

画像ファイル中に文字が描かれている場合、よむべえスマイルはその文字を認識して音声で読み上げます。

第５章　拡大読書機として使う

この章では、よむべえスマイルに画面を接続し、拡大読書機として使う方法を説明します。

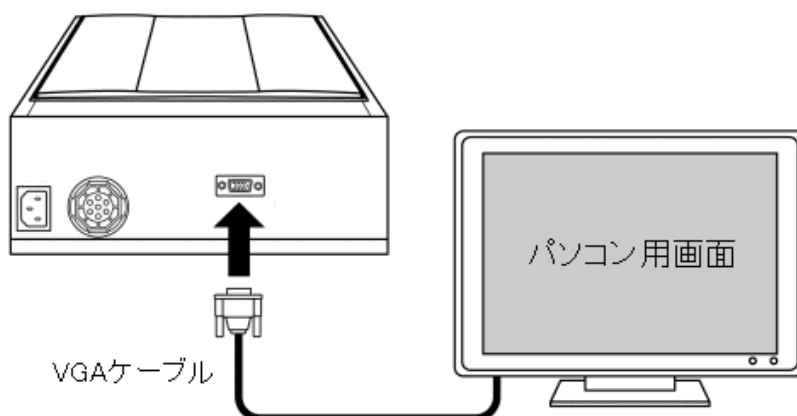
5.1. よむべえスマイルに画面を接続する

よむべえスマイルの背面には、『画面出力端子』がついています。ここに画面を接続すると、よむべえスマイルが声で読み上げている内容を画面で拡大して見ることができます。

注意

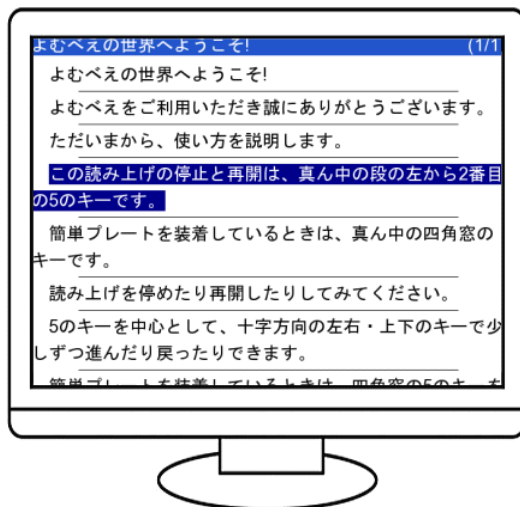
ノートパソコンの画面をよむべえスマイルに接続することはできません。

パソコン用の画面を接続する

パソコン用の画面を接続する場合、お持ちのパソコンと画面をつないでいるケーブル（VGA ケーブル）を使って、よむべえスマイルと画面をそのまま接続することができます。

⚠ **注意**

よむべえスマイル本体の電源を入れる前に、必ず画面の電源を先に入れるようにしてください。

よむべえスマイルの電源を入れる

画面の電源を入れた後、よむべえスマイルの電源を入れます。起動して 1 分ほどすると、よむべえスマイルの画面が表示されます。ここでよむべえスマイルを操作すると、現在しゃべっている内容が逐一画面に表示されます。

ワンポイント

よむべえスマイルの操作方法は、画面を接続していないときと同じです。

文字の大きさを変更する

よむべえスマイルに画面を接続している場合は、操作パネル左手前にある表示切り換えキー 0 を使って、文字の大きさや書式を変更することができます。

キー説明

文字の大きさを変更するには、表示切り換えキー 0 を押します。
キーを 1 回押すごとに、画面の文字の大きさが「小」→「中」→「大」の順に変化します。また、キーを 3 回繰り返して押すと、画面の縦書き・横書きの書式が切り換ります。

文字の配色を変更する

よむべえスマイルでは、文字の表示色として「白/黒」「黒/白」「青/黄」「黄/青」の 4 種類の組み合わせから選ぶことができます。

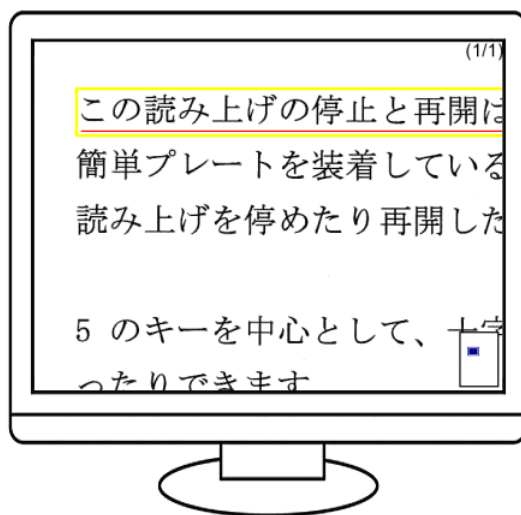
キー説明

文字の配色を変更するには、補助キー BS を押しながら表示切り換えキー 0 を押します。1 回押すごとに、画面の配色の組み合わせが変化します。

ワンポイント

画面の状態を工場出荷時の状態に戻すには、設定キー を 2 回押してください。音声と画面が標準の状態に戻ります。

5.2. 読み取った画像を拡大表示する

よむべえスマイルに画面が接続されている場合は、『拡大読書機モード』を使うことができます。拡大読書機モードでは、スキャンした画像がそのまま画面に表示されます。

キー説明

よむべえスマイルを拡大読書機モードに切り換えるには、読み取りキーの左隣りにあるモード を押します。

画面表示が「音声読書機モード」→「拡大読書機モード」→「CD モード」→「USB モード」の順に変わりますので、「拡大読書機モード」の時点で読み取りキー を押します。

ワンポイント

拡大読書機モードの操作方法は、音声読書機モードとほとんど同じです。（十字キーによる移動操作をのぞく）

拡大率を変更する

拡大読書機モードで新しいページを読み取ると、読み取った画像が画面全体に表示されます。この後、特定の部分を拡大表示し、操作パネルの十字キーを使って、拡大表示されている部分を上下左右に移動させることができます。

キー説明

画像の拡大率を変更するには、表示切り換えキー[0] を押します。
キーを 1 回押すごとに、画像の拡大率が「2 倍」→「3 倍」→「6 倍」→「12 倍」→「27 倍」→「40 倍」→「全体表示」の順に変化します。
画像が拡大されている状態で、操作パネルの十字キーを押すと、拡大表示されている部分が上下左右に移動します。

注意

よむべえスマイルの拡大率は、17 インチ画面を想定しています。実際に表示される拡大率は、お使いの画面の大きさによって変わります。

画像の色・コントラストを変更する

拡大読書機モードでは、「文字の配色を変更する」（p.37）と同様の方法で 画像の配色を変更できます。拡大読書機モードは読み取った画像をすべて 白黒に変換し、読みやすい明るさに自動調整して表示しますが、手動で画像のコントラストを変更することもできます。

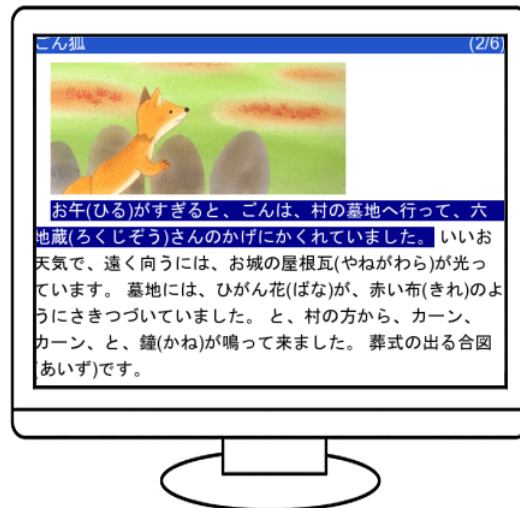
キー説明

画像のコントラストを変更するには、補助キー[BS]を押しながら前[7]または次ジャンプキー[1]を押します。キーを 1 回押すごとに、画面のコントラストが「-4」→「-3」→「-2」→「-1」→「自動」→「+1」→「+2」→「+3」→「+4」 の順に変化します。

通常、コントラストは「自動」に設定されています。 コントラストの値が低くなると画像はより暗くなり、 コントラストの値が高くなると画像はより明るくなります。

さらに、拡大読書機モードでは通常の配色に加えて 「写真表示」状態が選択できます。これは、スキャンした画像を 白黒にせずそのまま表示するもので、印刷物をカラーでスキャンした場合は もとの色がそのまま拡大表示されます。 印刷物をカラーでスキャンする方法については「スキャン方式」（p.51）を参照してください。

5.3. マルチメディアデイジー図書を読む

『マルチメディアデイジー図書』とは、通常の録音図書であるデイジー図書に文字や画像の情報を加えた電子書籍の一種です。
よむべえスマイルに画面が接続されている場合、マルチメディアデイジー図書を再生すると、現在の読み上げ部分に対応する文字や画像情報が画面に表示されます。

ワンポイント

マルチメディアデイジー図書を再生するときの操作方法は、通常のデイジー図書を再生するときの操作方法と同じです。

第６章　上級者向け機能

この章では、よむべえスマイルの上級者向け機能について説明します。

6.1. 連続スキャン

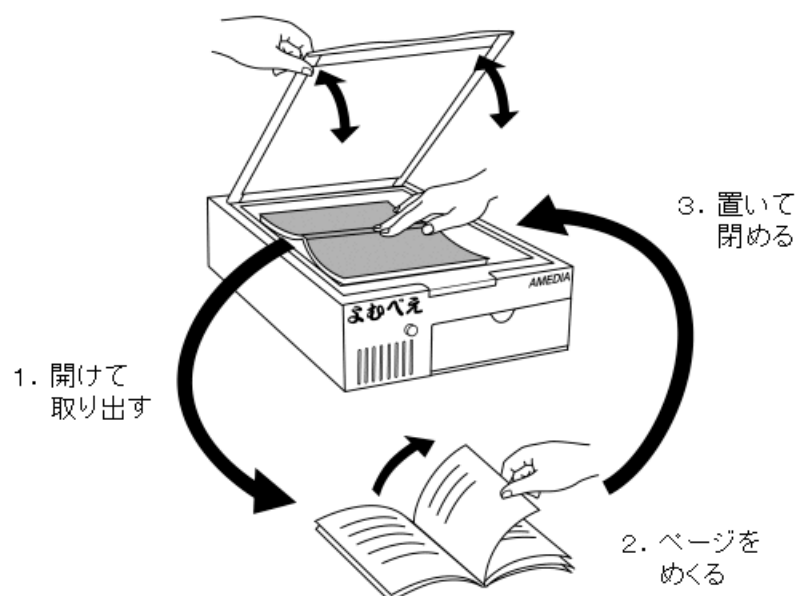
書籍などで、複数のページを一度にまとめて読み取りたい場合には『連続スキャン』という機能を使うと便利です。連続スキャンを開始すると、よむべえスマイルは指示があるまで何度でも連続して読み取り動作を繰り返します。このあいだに書籍のページをめくってタイミングよくよむべえスマイルに置くことで、複数のページを一度に読み取ることができます。

キー説明

連続スキャンをおこなうには、まず拡張メニューを開きます。取り消しキー Tab を押しながら、読み取りキーの左隣りにあるモード切り換えキー を２回押します。
「拡張メニュー」というアナウンスがあり、その後、上下のキーで項目が選択できる状態になります。ここで下キー 2↓ を数回押すと「連続スキャン」とアナウンスしますので、この状態で停止・再開キー 5 を押します。連続スキャンが開始されます。
連続スキャンを停止するには、取り消しキー Tab を押してください。また、イメージスキャナに何も置いていない状態を検知するとよむべえスマイルは自動的に連続スキャンを中止します。

連続スキャン中は、よむべえスマイルは約 30 秒おきにページを読み取ります。連続スキャンを始めると、よむべえスマイルは停止するまで同じ動作を繰り返しますので、あるページの読み取りが完了して次の読み取りが開始するまでの間に書籍のページをめくる必要があります。

1. 「読み取り完了」のアナウンスのあとに、すぐにイメージスキャナのフタを開けて書籍を取り出します。
2. 次のページを開きます。
3. 書籍をイメージスキャナに置いてフタを閉めます。
4. 「読み取り開始」のアナウンスのあとで、次の読み取りが始まります。

以上、1～4 の繰り返しです。

ワンポイント

連続スキャンで正しくページを読み取るには、多少の慣れが必要です。
連続スキャンで読み取ったページは後になるまで正しく読み取れたかどうかがわからないので、もしあるページがうまく読み取れないと感じた場合はそのまま同じページをもう一度読み取らせて、あとで余分なページを削除してください。

6.2. 点字スキャン

よむべえスマイルでは点字印刷された文書を読み上げることもできます。まず通常の印刷物と同じように読み取りたい点字の書かれたページを イメージスキャナのガラス面に当て、『点字スキャン』という 操作を実行します。

キー説明

点字スキャンをおこなうには、まず拡張メニューを開きます。取り消しキー Tab を押しながら、読み取りキーの左隣りにあるモード切り換えキー Del を 2 回押します。

「拡張メニュー」というアナウンスがあり、その後、上下のキーで項目が選択できる状態になります。ここで下キー 2↓ を数回押すと「点字スキャン」とアナウンスしますので、この状態で停止・再開キー 5 を押します。点字スキャンが開始されます。

点字スキャンでは、読み取った点字の文章は点字規則を考慮して 通常の日本語に変換されて読み上げられます。これ以外の操作は 通常の印刷物と変わりません。

ワンポイント

点字原稿が逆向きに認識されてしまった場合、 よむべえスマイルは意味のない文章を読み上げます。 このような場合は、原稿をさかさまに置いて もう一度点字スキャンをおこなってください。

また、点字が両面に打たれている場合は、 表の面と裏の面に対してそれぞれ点字スキャンをおこなってください。

注意

よむべえスマイルは点字の影を認識することで点字の読み取りをおこなっているため、 通常の墨字と点字が同時に印刷された文書に対しては点字スキャンをおこなうことができません。

ただしこのような場合でも、墨字部分は通常の読み取りで認識することができるため、 点字スキャンがうまくいかない場合は通常の読み取りを試してみてください。

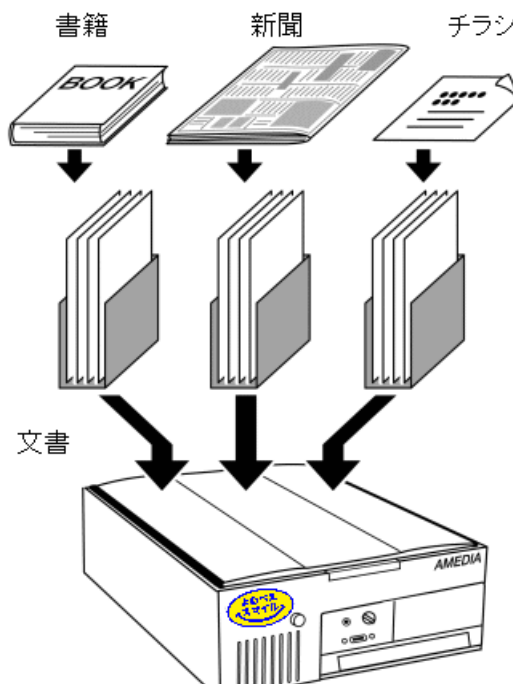
6.3. 高度な文書管理

「文書の移動」(p.23) で触れたように、よむべえスマイルは各ページを「文書」というものに分けて保存しています。この節では、より進んだ文書管理のための機能を紹介します。

新しい文書の作成

よむべえスマイルは通常、1 日に 1 回、新しい文書を作成しますが、一度に何種類もの違う印刷物を読み取る場合は、各印刷物ごとに別々の文書に分けることで、よりわかりやすく印刷物を管理することができます。

> **キー説明**
>
> 新しい文書を作成するには、まず拡張メニューを開きます。取り消しキー [Tab] を押しながら、読み取りキーの左隣りにあるモード切り換えキー [. Del] を 2 回押します。
> 「拡張メニュー」というアナウンスがあり、その後、上下のキーで項目が選択できる状態になります。ここで下キー [2↓] を数回押すと「新しい文書を作成」とアナウンスしますので、この状態で停止・再開キー [5] を押します。新しい文書がつくられ、以後スキャンしたページはこの文書に追加されます。

どのように文書を分けるかは、お客様の工夫しだいです。代表的な例としては、一冊の本をひとつの文書としてまとめるという方法があります。また、1 日の新聞やチラシや郵便物をそれぞれ別の文書にするという方法もあります。

文書に名前をつける

よむべえスマイルが新しく文書を作成する場合、自動的に「〇月〇日の文書」のような名前がつけられますが、よむべえスマイルではスキャンした文書中で使われている文字を使って、この名前を変更することができます。

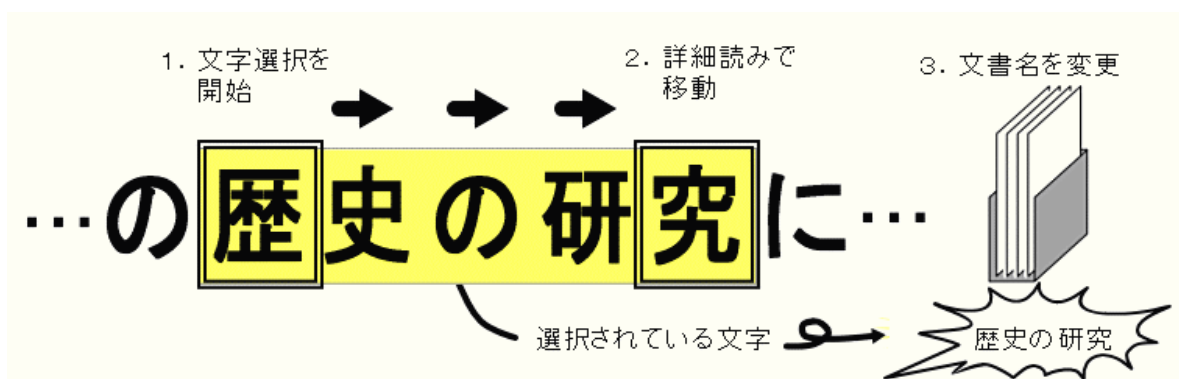
よむべえスマイルの文書に名前をつける場合は、まず『文字選択』という操作をおこない、文書につけたい名前を文中の文字から抜き出します。

キー説明

文字選択をおこなうには、「2.5. 漢字の詳細読み」（p.21）で説明した漢字の詳細読みを使って、名前に使いたい最初の文字を読み上げます。ここで、取り消しキー Tab を押しながら、停止・再開キー 5 を押すと、「文字選択、開始」というアナウンスがあり、最初の文字が選択されます。

選択されている文字は通常よりも高い声で読み上げられます。この後取り消しキー Tab を押しながら、左キー 4 または右キー 6 を押すと、選択の範囲が前または後に 1 文字ずつ伸びていきます。

文字選択の状態を取り消すには、もう一度取り消しキー Tab を押しながら停止・再開キー 5 を押してください。

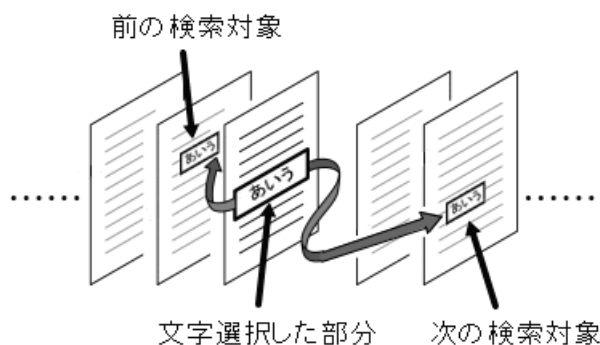
次に『名前をつける』操作を実行すると、文書の名前が変更されます。

キー説明

文書の名前を変更するには、文字が選択されている状態で取り消しキー Tab を押しながら、しおりキー / を 2 回押します。「文書の名前を変更しました」というアナウンスがあり、以後この文書はこの名前で呼ばれます。

文書中の文字を検索する

ある文書中に何度も同じ単語や地名などが現れる場合、よむべえスマイルでは、これらの文字を文書中から検索することができます。
文字を検索する場合は、「文書に名前をつける」(p.45)にあるように、まず検索したい文字が現れている部分に移動し、『文字選択』の操作をつかって、検索対象となる文字を選択してください。次に指定した文字が現れている部分にジャンプします。

キー説明

文書中の文字を検索するには、文字が選択されている状態で取り消しキー Tab を押しながら、前ジャンプキー 7 または次ジャンプキー 1 を 2 回押します。
前ジャンプキーが押された場合、よむべえスマイルは現在の位置よりも前にある文字を検索し、次ジャンプキーが押された場合は、現在の位置よりも後にある文字を検索します。指定された文字が見つかった場合、よむべえスマイルはその文字が現れている部分から読み上げを開始します。

ワンポイント

文字が見つかった場合、対象のページにジャンプしたあとでも、検索対象の文字は引き続き選択された状態になっています。そのため、このまま取り消しキー Tab を押しながら、前ジャンプキー 7 または次ジャンプキー 1 を2回押せば、同じ文字を引き続き検索することができます。

注意

検索の対象となるのは、同一文書中にあるページだけです。

文書中の電話番号を検索する

よむべえスマイルでは、印刷物に書かれている電話番号を自動的に検出して読み上げることができます。

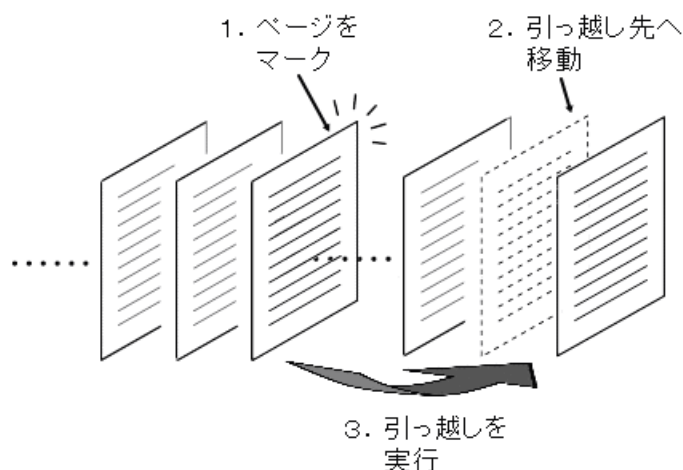
キー説明

文書中の電話番号を検索するには、文字が選択されていない状態で取り消しキー Tab を押しながら、前ジャンプキー 7 または次ジャンプキー 1 を２回押します。
前ジャンプキーが押された場合、現在の位置よりも前にある電話番号を検索し、次ジャンプキーが押された場合は、現在の位置よりも後にある電話番号を検索します。電話番号が見つかった場合、よむべえスマイルはその番号が書かれている部分を読み上げます。

注意

検索の対象となるのは、同一文書中にあるページだけです。

ページの引越し

よむべえスマイルのページは、印刷物を読み取った順に追加されていきます。読み取ったあとでページの順序を変更したり、あるページを別の文書に移しかえたい場合は『ページの引越し』という操作をおこないます。

キー説明

ページの引越しをおこなうには、まず移したいページに移動して、補助キー BS を押しながら、停止・再開キー 5 を２回押します。「このページを引越し用にマークしました」というアナウンスがあり、現在のページ内容が記録されます。
つぎに、前ページキー 9 あるいは次ページキー 3 を使ってそのページを移す先に移動し、もう一度補助キー BS を押しながら、停止・再開キー 5 を２回押します。「ページの引越しが完了しました」というアナウンスがあり、ページの引越しが完了します。

たとえば、10 ページ目の内容を 5 ページ目に挿入したいときは、まず 10 ページ目に移動してその「ページを引越し用にマーク」し、つぎに 5 ページ目に移動してから「ページの引越しを実行」します。

 ワンポイント

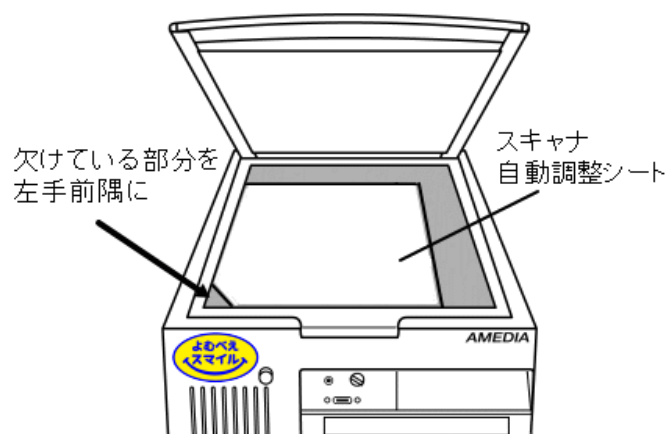
ページを引越し用にマークしてから別の文書に移動し、そこで引越しを実行すると、そのページを別の文書に移すことができます。

6.4. スキャナの自動調整

よむべえスマイルに搭載されているイメージスキャナは工場出荷時に調整されていますが、長く使っているうちにスキャナのガラス面が汚れてきたり、スキャナ内部の状態が変わってくる場合があります。このようなときは、『スキャナ自動調整』という操作をおこなうことにより、イメージスキャナを最適な状態に戻すことができます。

 ワンポイント

よむべえスマイルは何もしなくても一定期間ごとに自動でスキャナの調整をおこなうため、通常はスキャナの自動調整をおこなう必要はありません。読み取りの調子がおかしいと感じたときにのみ、スキャナの自動調整機能をお使いください。

スキャナの自動調整をおこなう場合は、よむべえスマイルに付属している『スキャナ自動調整シート』を使います。スキャナ自動調整シートを用意し、これのカドが欠けている部分がスキャナのガラス面の左手前隅になるように置きます。その後、拡張メニューから自動調整を実行します。

キー説明

スキャナの自動調整をおこなうには、まず拡張メニューを開きます。取り消しキー を押しながら、読み取りキーの左隣りにあるモード切り換えキー を2回押します。
「拡張メニュー」というアナウンスがあり、その後、上下のキーで項目が選択できる状態になります。ここで下キー を数回押すと「スキャナ自動調整」とアナウンスしますので、この状態で停止・再開キー を押します。スキャナの調整が開始され、読み取り完了後に認識精度がアナウンスされます。

注意

スキャナの調整中は、イメージスキャナのフタを開けないでください。

ワンポイント

スキャナ自動調整シートがなくても スキャナの自動調整をおこなうことは可能ですが、 その場合、認識精度を測定することはできず、 調整後に「これはスキャナ自動調整シートではありません」と アナウンスされます。

6.5. よむべえスマイルの設定を変更する

よむべえスマイルの細かな動作を変更するには、『設定変更メニュー』を使います。

キー説明

設定変更メニューを開くには、取り消しキー を押しながら、設定キー を2回押します。
「設定変更」というアナウンスがあり、その後、上キー と下キー で設定項目が選択できる状態になります。各設定項目ごとに、右キー と左キー で内容を変更できます。
すべての項目で変更が終わったら、一番下の「設定を確定する」という項目を選んで読み取りキー を押すと、変更が確定されます。メニューの中で取り消しキー を押すと、設定は変更されずに元の状態に戻ります。

ワンポイント

すべての設定を出荷時の状態に戻すには、 一番下の「設定を確定する」という項目を選んで 右キー［6］または左キー［4］を 1 回押してください。 項目の内容が「出荷時の設定に戻す」に変わります。 この時点で読み取りキー［Enter］を押すと、 よむべえスマイルの設定は出荷時の状態に戻ります。

設定変更メニューには、多くの項目が用意されています。設定項目の一覧については、「付録 C-1. 音声・拡大読書機モードの設定項目」（p.65）および「付録 C-2. CD・USB モードの設定項目」（p.66）をご覧ください。この節では、いくつかの重要な項目にしぼって説明します。

ルビの読み上げ

印刷物によっては、読み方のむずかしい漢字にルビがついていることがあります。この項目はそのような文字を、よむべえスマイルがどのように読み上げるかを指定します。設定には「普通に読む」「詳細に読む」「ルビを無視する」の 3 種類があり、それぞれ以下のような違いがあります:

- 普通に読む … ルビのついた文字をルビにしたがって読みます。
- 詳細に読む … ルビにしたがった読みをするとともに、その単語が実際にどのような漢字で表現されているかを解説します。
- ルビを無視する … ルビを無視し、漢字をそのまま読み上げます。

よむべえスマイル出荷時には、これは「普通に読む」に設定されています。

認識する言語

よむべえスマイルが文字認識する言語を指定します。「日本語」「英語」「自動判定」の 3 種類の設定が選べます。この項目を「日本語」に設定した場合、よむべえスマイルは英字を正しく認識しますが、英文や英単語はすべてローマ字読みで発音します。「英語」に設定した場合、よむべえスマイルは英文を正しく認識し、読み上げも英語の発音でおこないます。「自動判定」に設定した場合、よむべえスマイルはその印刷物が日本語で書かれているか、英語で書かれているかを自動的に判定します。

よむべえスマイル出荷時には、これは「日本語」に設定されています。

注意

認識する言語を「英語」に設定した場合、 よむべえスマイルは日本語の文字を認識しませんのでご注意ください。 また、言語を「自動判定」に設定した場合、 英語として文字認識した場合でも、読み上げはつねに日本語でおこなわれます。 なお、点字文書はこの設定に関わらずつねに日本点字として認識されます。

文書の保存形式

よむべえスマイルの文書を USB メモリに保存する際の保存形式を指定します。保存した文書は、パソコンあるいは携帯型デイジープレイヤーでご利用いただけます。保存できる形式には以下のものがあります。

- テキスト形式 … 文書をひとつのテキストファイル（.txt）として保存します。各ページはページ区切り文字によって分けられます。
- デイジー形式 … 文書をひとつのデイジー図書として保存します。この場合、ひとつのフォルダ内にデイジー図書の関連ファイルが保存されます。
- HTML 形式 … 文書をひとつの HTML ファイル（.htm）として保存します。ファイルの先頭には、各ページの先頭にジャンプするためのリンクがつけられます。
- MP3 形式 … 文書を MP3 音声ファイル（.mp3）として保存します。この場合、各ページがすべてつながった、ひとつの音声ファイルになります。

この設定項目を変更すると、拡張メニューの文書保存の操作名がそれに合わせて変更されます。
よむべえスマイル出荷時には、これは「テキスト形式」に設定されています。

注意

保存形式として「デイジー形式」または「MP3 形式」を指定した場合、 現在の設定にかかわらず、つねにデフォルトの女性音声が読み上げに使われます。

スキャン方式

よむべえスマイルは通常、印刷物の色を無視してスキャンします。 設定変更のスキャン方式を「グレースケール」から「カラー」に変更すると、印刷物の色をそのまま読み取ることができます。
「カラー」方式で読み取った印刷物は、拡大読書機モードでもカラーとして表示されます。

よむべえスマイル出荷時には、これは「グレースケール」に設定されています。

色がついていたり、背景にすかしが入っている印刷物は、カラーによるスキャンのほうが、通常の読み取りよりも よい認識結果が得られることがあります。

⚠ 注意

カラーによるスキャンは通常の読み取りよりも長い時間がかかります。 読み取り完了のアナウンスがあるまでは、印刷物を動かさないよう注意してください。

日付と時刻の変更

よむべえスマイルには、印刷物を読み取った時刻を記録するための時計が内蔵されています。この項目を変更するには、まず停止・再開キー を押してください。つぎに現在の日付または時刻を、よむべえスマイルのテンキーを使って数字で入力します。年・月・日の各項目を入力したあとに、読み取りキー を押して変更を確定してください。

⚠ **注意**

よむべえスマイルのテンキーに書かれている数字は、通常の電話機の番号とは上下の位置が逆なので注意してください。よむべえスマイルでは、左手前隅がゼロのキーで、その上の列が 1,2,3、その上の列が 4,5,6 …という順序になっています。

第 7 章　故障かな? と思ったら

この章では、よむべえスマイルに関連する症状の原因と対策を挙げています。よむべえスマイルに故障が発生したと思われる場合は、まず以下の項目を確認ください。それでも問題が解決しない場合は株式会社アメディアまでご連絡ください。

株式会社アメディア
〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 1-15-6　第 10 秋山ビル 1 階
電話. 03-6915-8597　FAX. 03-3994-7177

? よむべえスマイルの電源が入らない

よむべえスマイルの背面には、放熱のための小さな排気口がついています。よむべえスマイルの電源が入っている場合は、この排気口の中にあるファンが回転し、排気口から微弱な空気が流れているのがわかります。
ファンの回転音がしないか、あるいは排気がされない場合は、以下の原因が考えられます。

原因	電源コードが正しく接続されていない。
対策	電源コードの終端をよむべえスマイル本体にしっかりと押しこみ、コードがコンセントにささっていることを確認します。

? よむべえスマイルから音が出ない

よむべえスマイルの排気口からファンの回転音はしているが、よむべえスマイル本体から音が出ない場合には、以下の原因が考えられます。

原因	スピーカーの音量が小さくなっている。
対策	よむべえスマイル本体前面にある音量調節ツマミを回して、音量を調整します。

原因	よむべえスマイル本体前面のイヤホン端子にイヤホンがささっている。
対策	よむべえスマイルに接続されているイヤホンを抜きます。

? よむべえスマイルがしゃべらない

よむべえスマイルは起動時に短い音楽を鳴らします。よむべえスマイルの音楽が鳴ったにもかかわらず、音声が出ない場合には、以下の原因が考えられます。

原因	よむべえスマイルの CD・USB モードのガイド音量設定が「小」になっている。
対策	よむべえスマイルで CD・USB モードに変更し、設定変更メニューで「ガイド音量」の項目を確認します。

? 画面が映らない

よむべえスマイルに画面を接続しても画面がまったく映らなかったり、読み上げ内容が正しく表示されない場合には、以下のことを確認してください。

原因	画面が正しく接続されていない。
対策	画面とよむべえスマイルが正しくケーブルで接続されているかどうかを確認します。

原因	よむべえスマイルの電源投入時に画面の電源が入っていない。
対策	画面の電源を確認します。すでによむべえスマイルを起動している場合は、いったん電源を切り、ふたたび電源を入れてください。

原因	画面の入力切り換え・表示設定がおかしい。
対策	画面の入力切り換え・表示設定を確認します。詳しくは、お使いの画面の取扱説明書を参照してください。

? CD・DVD を読まない（※DVD 再生には画面が必要です）

CD トレイに CD や DVD を入れてもよむべえスマイルが何も反応しない場合は、以下のことを確認してください。

原因	ディスクが正しく挿入されていない。
対策	CD・DVD を正しくはめ込み、トレイをカチっと音がするまで閉じます。

原因	ディスクが裏返しで挿入されている。
対策	CD トレイに CD・DVD の正しい面をセットします。

原因	CD ドライブのレンズが汚れている。
対策	クリーニング CD 等を使って、CD ドライブの中にあるレンズの汚れを落とします。 ※CD トレイを引き出したときに、レンズに触れないよう注意してください。

原因	ブランク CD（何も書かれていない CD）あるいは CD・DVD でないディスク（ブルーレイディスクなど）が挿入されている。
対策	ディスクの種類を確認します。 ※プレクストーク PTR2 で録音された CD で、「ファイナライズ」処理をしていない CD の場合はまずプレクストーク PTR2 で「ファイナライズ」処理をおこなってください。

? 読み取りの精度が悪い

印刷物がうまく読み取れない場合、以下の原因が考えられます。

原因	イメージスキャナのガラス面が汚れている。
対策	乾いた布などでイメージスキャナのガラスを拭き、汚れを落とします。

原因	印刷物がガラス面と密着していない。
対策	薄い印刷物や銀行通帳などは、スキャナのフタを閉めても印刷物がガラス面と完全には密着しない場合があり、このような状態で読み取りをおこなうと精度が極端に低下する場合があります。このような場合は、印刷物とフタの間に薄い文庫本などの「重石」を置くと、読み取り精度が改善することがあります。

原因	イメージスキャナのフタがきちんと閉まっていない。
対策	読み取り時にイメージスキャナのフタがきちんと閉まっていることを確認します。

原因	暗い部屋でフタをあけてスキャンしている。
対策	分厚い印刷物をスキャンするときなど、イメージスキャナのフタが きちんと閉められない場合、よむべえスマイルが印刷物の周囲の背景を認識できないため、 認識精度が低下することがあります。このような場合は、 部屋の電気をつけた状態でスキャンしてみてください。

原因	スキャナの調整が必要である。
対策	「拡張メニュー」から「スキャナ自動調整」を実行します。詳しくは「6.4. スキャナの自動調整」（p.48）を参照してください。 なお、スキャナは一定時間使用すると自動的に再調整されるため、通常はこの操作は必要ありません。

? よむべえスマイルの電源が切れない

よむべえスマイルでは、電源ボタンを押してから実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかる場合があります。これはよむべえスマイルが終了処理をしている最中ですので、そのまま電源が切れるまでお待ちください。

⚠ 注意

よむべえスマイルの動作中に電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。

付録A. キー操作一覧

付録 A - 1. 音声読書機モードのキー操作

以下によむべえスマイルの音声読書機モードにおけるキー操作の一覧を示します。キーの名称については、別表（p.70）を参照してください。

表. 音声読書機モードのキー操作

読み取り	読み取りキー × 2 回
手書きスキャン	取り消しキー + 読み取りキー × 2 回
通帳スキャン	補助キー + 読み取りキー × 2 回
読み上げを停止・再開	停止・再開キー
前の文を読み上げ	上キー
次の文を読み上げ	下キー
前の文節を読み上げ	左キー
次の文節を読み上げ	右キー
前の段落を読み上げ	取り消しキー + 上キー
次の段落を読み上げ	取り消しキー + 下キー
前の 1 文字を詳細読み	取り消しキー + 左キー
次の 1 文字を詳細読み	取り消しキー + 右キー
上の領域を読み上げ	補助キー + 上キー
下の領域を読み上げ	補助キー + 下キー
左の領域を読み上げ	補助キー + 左キー
右の領域を読み上げ	補助キー + 右キー
ページの先頭・前のページに移動	前ページキー
次のページに移動	次ページキー
しおりを登録・削除	しおりキー × 2 回
前のしおりへ移動	前ジャンプキー× 2 回
次のしおりへ移動	次ジャンプキー× 2 回

前の電話番号を検索	取り消しキー ＋ 前ジャンプキー × ２回
次の電話番号を検索	取り消しキー ＋ 次ジャンプキー × ２回
前の文字列を検索	取り消しキー ＋ 前ジャンプキー × ２回（文字列を選択後）
次の文字列を検索	取り消しキー ＋ 次ジャンプキー × ２回（文字列を選択後）
文字選択開始	取り消しキー ＋ 停止・再開キー
現在位置確認	情報キー
ページ補正方法を切り換え	補助キー ＋ 情報キー
ページ削除	補助キー ＋ 前ページキー × ２回
ゴミ箱の内容を確認	補助キー ＋ 次ページキー × ２回
ゴミ箱のページを元に戻す	補助キー ＋ 前ページキー × ２回（ゴミ箱の中で）
ページの引越しを指定・実行	補助キー ＋ 停止・再開キー × ２回
文書一覧メニューを表示（※1）	情報キー（長押し）
前の文書へ移動	取り消しキー ＋ 前ページキー × ２回
次の文書へ移動	取り消しキー ＋ 次ページキー × ２回
文書名をつける	取り消しキー ＋ しおりキー × ２回（文字列を選択後）
文書情報を確認	取り消しキー ＋ 情報キー
読み上げ速度を速く	速さキー
読み上げ速度を遅く	取り消しキー ＋ 速さキー
標準の状態に戻す	設定キー × ２回
設定変更メニューを表示（※2）	取り消しキー ＋ 設定キー × ２回
拡張メニューを表示（※2）	取り消しキー ＋ モード切り換えキー × ２回
書式を切り換え	表示切り換えキー
表示色を切り換え	補助キー ＋ 表示切り換えキー
モードを切り換え	モード切り換えキー

※１．文書一覧メニューでは以下のキー操作を使うことができます。文書一覧メニューの使い方については「3.5.特定の文書・ページに移動する」（p.27）を参照してください。

表. 文書一覧メニューのキー操作

1 項目前へ	上キー
1 項目後へ	下キー
10 項目前へ	前ページキー
10 項目後へ	次ページキー
最初の文書へ	しおりキー
最後の文書へ	設定キー
選択した文書に移動	停止・再開キー
文書名を詳細読み	左キーまたは右キー
文書一覧の順序を切り換え	モード切り換えキー
文書一覧メニューから抜ける	取り消しキー
しおりのついた文書を選択	前ジャンプキーまたは次ジャンプキー

※2. 設定変更メニューおよび拡張メニューの一部の操作では、 ページ番号や日付・時刻などの情報を数字で入力することがあります。 この場合、本来よむベえスマイルの移動操作に使うキーを数字キーとして使用します。ここでは以下のキー操作が有効です。

表. 数値入力時のキー操作

数字を入力する	0 から 9 までの数字キー
入力を確定する	読み取りキー
すべての入力を取り消す	取り消しキー
直前に入力した 1 文字を削除する	補助キー
「先頭の位置」に相当する値を入力する	しおりキー
「最後の位置」に相当する値を入力する	設定キー

付録 A - 2. 拡大読書機モードのキー操作

よむべえスマイルの拡大読書機モードでは、以下のようなキー操作を使うことができます。これ以外の操作は音声読書機モードと共通です。拡大読書機モードの使い方については「第 5 章 拡大読書機として使う」（p.36）を参照してください。

表. 拡大読書機モードのキー操作

操作	キー
表示位置を上へ移動	上キー（拡大時）
表示位置を下へ移動	下キー（拡大時）
表示位置を左へ移動	左キー（拡大時）
表示位置を右へ移動	右キー（拡大時）
拡大率を切り換え（拡大）	表示切り換えキー
拡大率を切り換え（縮小）	取り消しキー ＋ 表示切り換えキー
コントラストを下げる	補助キー ＋ 前ジャンプキー
コントラストを上げる	補助キー ＋ 次ジャンプキー
画像を 90°回転	取り消しキー ＋ 停止・再開キー × 2 回

付録 A - 3. CD・USB モードのキー操作

以下によむべえスマイルの CD・USB モードにおけるキー操作の一覧を示します。 CD・USB モードの使い方については「第 4 章 CD・DVD・USB メモリの内容を聴く」（p.28）を参照してください。なお、CD・USB モードでも、読み取りキーを押すとよむべえスマイルは音声・拡大読書機モードに戻り、印刷物の読み取りをおこないます。

表. CD、DVD、デイジー図書（ファイル）再生時のキー操作

再生停止・再開	停止・再開キー
少し戻る・巻き戻し	左キー
少し進む・早送り	右キー
前の曲・見出し・メニュー項目に移動	上キー
次の曲・見出し・メニュー項目に移動	下キー
前の段落を読み上げ	取り消しキー ＋ 上キー
次の段落を読み上げ	取り消しキー ＋ 下キー
前の 1 文字を詳細読み	取り消しキー ＋ 左キー
次の 1 文字を詳細読み	取り消しキー ＋ 右キー
ページの先頭・前のページに移動	前ページキー
次のページに移動	次ページキー
しおりを登録・削除	しおりキー × 2 回
前のしおりへ移動	前ジャンプキー × 2 回
次のしおりへ移動	次ジャンプキー × 2 回
現在位置確認	情報キー
図書（ファイル）一覧に戻る（※3）	情報キー（長押し）
図書（ファイル）情報	取り消しキー ＋ 情報キー
一定時間だけ戻る	補助キー ＋ 上キー
一定時間だけ進む	補助キー ＋ 下キー
再生速度を速く	速さキー
再生速度を遅く	取り消しキー+ 速さキー

標準の状態に戻す	設定キー　×　2回
設定変更メニュー表示	取り消しキー　+　設定キー　×　2回
拡張メニュー表示	取り消しキー　+　モード切り換えキー　×　2回
書式の切り換え	表示切り換えキー
表示色の切り換え	補助キー　+　表示切り換えキー
モード切り換え	モード切り換えキー
読み取り	読み取りキー×　2回
手書きスキャン	取り消しキー　+　読み取りキー×　2回
通帳スキャン	補助キー　+　読み取りキー×　2回

※3. デイジー図書（ファイル）一覧の状態では、以下のキー操作を使うことができます。

表. デイジー図書（ファイル）一覧時のキー操作

1項目前へ	上キー
1項目後へ	下キー
10項目前へ	前ページキー
10項目後へ	次ページキー
ファイルまたは図書を再生	停止・再開キー
ファイル名の詳細読み	左キーまたは右キー

付録B. 拡張メニュー操作一覧

よむべえスマイルでは、あまり頻繁におこなわない操作は拡張メニューの中にまとめられています。拡張メニューの項目は、音声・拡大読書機モードの場合と CD・USB モードの場合とで変わります。

付録 B - 1. 音声・拡大読書機モードの拡張メニュー

表. 音声・拡大読書機モードの拡張メニュー操作

よむべえスマイル説明書	よむべえスマイルのオンライン説明書を表示します。
連続スキャン	連続スキャンを開始します。連続スキャン機能の使い方については、「6.1. 連続スキャン」(p.41) を参照してください。
ページ指定移動	番号で指定されたページに移動します。詳しくは「3.5.特定の文書・ページに移動する」(p.27) を参照してください。
点字スキャン	点字スキャンを開始します。点字スキャンについては、「6.2.点字スキャン」(p.43) を参照してください。
新しい文書を作成	新しい文書を作成します。詳しくは、「新しい文書の作成」(p.44) を参照してください。
テキスト保存(デイジー保存, HTML 保存, MP3 保存)	文書の内容を USB メモリに保存します。詳しくは、「3.3. よむべえスマイルの文書をパソコンで使用する」(p.25) を参照してください。
しおりの全削除	確認後、現在の文書についているしおりをすべて削除します。
文書の削除	確認後、現在の文書の内容をすべて削除します。
USB バックアップ	よむべえスマイルに記録されている文書の内容をすべて USB メモリにバックアップします。
USB 復元	「USB バックアップ」によって保存された情報を使ってよむべえスマイルの文書を復元します。
スキャナ自動調整	イメージスキャナの調整をおこないます。詳しくは「6.4. スキャナの自動調整」(p.48) を参照してください。
すべての文書の消去	よむべえスマイル内部の文書をすべて削除し、設定の初期化をおこないます。(※4)

⚠ **注意**

「USB バックアップ」および「USB 復元」は、各ページにつけられたしおりの情報は保存されません。また、これらの操作は、よむべえスマイル内部に記録されているページ数が多い場合には時間がかかります。

※4. 安全のため、この操作は通常の拡張メニューには表示されません。 この項目を表示するには、補助キーと拡張キーを両方押しながら 拡張メニューを開く必要があります。また、操作の実行に 「8、2、4、6」の順でキーを押す必要があります。

付録 B - 2. CD・USB モードの拡張メニュー

表. CD・USB モードの拡張メニュー

ディスク情報	現在、挿入されている CD あるいは USB メモリの情報を報告します。
ページ指定移動	番号で指定されたページに移動します（テキストファイルの場合)。(※5)
時間指定移動	数字で指定された時刻に移動します（デイジー図書、音楽 CD、MP3 ファイルの場合)。(※5)
曲指定移動	数字で指定された曲に移動します（音楽 CD の場合)。(※5)
タイトル指定移動	数字で指定されたタイトルの再生を開始します（DVD の場合)。(※5)
音声選択	二か国語音声対応の DVD ビデオを再生している場合、再生中の音声を切り換えます。
字幕選択	字幕対応の DVD ビデオを再生している場合、表示中の字幕の種類を切り換えます。
しおりの全削除	確認後、現在の文書についているしおりをすべて削除します。
デイジー図書を転送	確認後、選択されたデイジー図書を携帯型デイジープレイヤーあるいは USB メモリに転送します。（デイジー図書のみ)

※5. これらの操作は現在再生しているメディアの種類によって変わります。 ページのない音楽 CD や MP3 などのオーディオファイルでは、 「ページ指定移動」のかわりに「時間指定移動」の機能が使えます。 ここではページ番号のかわりに分単位での時間を入力します。

付録C. 設定項目一覧

以下によむべえスマイルの動作を変更する設定項目の一覧を示します。詳細については「6.5. よむべえスマイルの設定を変更する」(p.49) を参照してください。

付録 C - 1. 音声・拡大読書機モードの設定項目

表. 音声・拡大読書機モードの設定項目

項目	説明
音声	読み上げとガイドで使う合成音声の種類を指定します。「Misaki」「男性」「女性」のいずれかを指定します。
読み上げ時の効果音	読み上げ時に効果音を入れるかどうかを指定します。「効果音あり」「効果音なし」のいずれかを指定します。
ページ補正	新しく読み取ったページに対する既定の補正方法として、「一般的な印刷物」「書籍」「新聞や雑誌」「一段組」「補正しない」のいずれかを指定します。詳細は、「2.4. ページ補正をおこなう」(p.20) を参照してください。
ルビの読み上げ	ルビの読み上げ方式として、「普通に読む」「詳細に読む」「ルビを無視する」のいずれかを指定します。
認識する文書の言語	認識する文書の言語として、「日本語」「英語」「自動判定」のいずれかを指定します。
新規文書の自動作成	日付が変わったときに、自動的に新しい文書を作成するかどうかを指定します。「自動作成する」「自動作成しない」のいずれかを指定します。
文書の保存ファイル形式	文書の保存形式として、「テキスト形式」「デイジー形式」「HTML 形式」「MP3 形式」のいずれかを指定します。詳細は、「3.3. よむべえスマイルの文書をパソコンで使用する」(p.25) を参照してください。
文書の保存期間	読み取った文章と画像の保存期間を指定します。「保存しない」「文章のみ保存」「画像を 1 ヶ月間保存」「画像を 6 ヶ月間保存」「画像を 1 年間保存」「すべて保存」 のいずれかを指定します。
スキャン方式	イメージスキャナの読み取り方式として、「白黒」「グレースケール」または「カラー」のいずれかを指定します。詳細は、「スキャン方式」(p.51) を参照してください。

起動時のモード	よむべえスマイルが起動した時のモードとして、「音声読書機モード」または「拡大読書機モード」のいずれかを指定します。
現在の日付	よむべえスマイルに記憶されている現在の日付を変更します。詳細は「日付と時刻の変更」(p.52) を参照してください。
現在の時刻	よむべえスマイルに記憶されている現在の時刻を変更します。詳細は「日付と時刻の変更」(p.52) を参照してください。

注意

既定のページ補正方法を「新聞・雑誌」に切り換えた場合、読み取りの完了から読み上げまでに時間がかかることがあります。

付録 C - 2. CD・USB モードの設定項目

表. CD・USB モードの設定項目

音声	再生とガイドで使う合成音声の種類を指定します。「Misaki」「男性」「女性」のいずれかを指定します。
ガイド音量	録音された肉声に対する合成音声の音量を指定します。「音量 1」から「音量 5」までのいずれかを指定します。
再生時の効果音	再生時に効果音を入れるかどうかを指定します。「効果音あり」「効果音なし」のいずれかを指定します。
読み上げ言語	テキストファイルを読み上げる際の言語を指定します。「日本語」「英語」のいずれかを指定します。
ファイル一覧の方式	ファイル一覧の方式として、「一度に表示」あるいは「フォルダごとに表示」のいずれかを指定します。
ファイル一覧の順序	ファイル一覧の順序として「種類順」「名前順」「日付順」のいずれかを指定します。
PDF 認識	PDF ファイルの再生時に強制的に OCR (文字認識) 処理をおこなうかどうかを指定します。「つねに認識」「必要に応じて認識」のいずれかを指定します。

付録D. よむべえスマイルでサポートするファイル形式一覧

よむべえスマイルの CD・USB モードでは、以下のファイル形式を再生することができます。

表.CD・USB モードでサポートされているファイル形式

テキストファイル（.txt）	Word ファイル（.doc, .docx）	PDF ファイル（.pdf）
Excel ファイル（.xls, .xlsx）	HTML ファイル（.htm, .html）	リッチテキストファイル（.rtf）
MP3 ファイル（.mp3）	MIDI ファイル（.mid）	Windows Media ファイル（.wma）
CSV ファイル（.csv）	その他の音声ファイル（.wav, .ogg, .avi）	画像ファイル各種（.bmp, .jpg, .gif）
BES ファイル（.bes）	EPUB ファイル（.equb）	

付録E. よむべえスマイルでサポートする携帯型デイジープレイヤー一覧

よむべえスマイルでは、携帯型デイジープレイヤーとして以下の機種をサポートしています。

- プレクストークポケット PTP1
- プレクストークリンクポケット PTP1/LINK
- ブックセンス T50 / T50TX
- VR ストリーム

なお、デイジープレイヤー以外にも、 USB メモリや SD カードなどの外部記憶媒体にデイジー図書を保存することもできます。

索引

技術情報

本機は、スキャナを搭載した音声・拡大読書機です。
スキャナにはキヤノン株式会社の CanoScan を用いています。
認識エンジンにはメディアドライブ株式会社の日本語 OCR ライブラリーを使用しています。
音声合成エンジンには富士通株式会社の日本語音声合成ライブラリーと HOYA 株式会社の VoiceText Misaki を使用しています。
MP3 録音技術およびソフトウェアは Fraunhofer Gesellschaft zur Förderung der Angewandten Forschung 社によって提供されたものです。
本取扱説明書で記載する社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

本機で利用しているフリーソフトウェアについて

本機を構成するソフトウェアの一部には、フリーソフトウェアの Pygame を利用しています。
このソフトウェアは LGPL（GNU 劣等一般公衆利用許諾契約書）によって配布されています。
詳しくは、Pygame のホームページ http://www.pygame.org/ をご覧ください。
また、これとは別に、Glyph & Cog, LLC 社によって開発されたフリーソフトウェアの XPDF を使用しています。このソフトウェアは GPL（GNU 一般公衆利用許諾契約書）によって配布されています。
詳しくは Glyph & Cog, LLC 社のホームページ http://www.foolabs.com/xPDF/ をご覧ください。
LGPL（GNU 劣等一般公衆利用許諾契約書）および GPL（GNU 一般公衆利用許諾契約書）の詳細については、フリーソフトウェア財団のホームページ http://www.fsf.org/licensing/ をご覧ください。

これら、本機の技術基盤を作ってくださった皆様及び各社の皆様に、アメディアスタッフ一同心より感謝申し上げます。

以下、英語で著作権表示致します。

別表．キー名称

読み取りキー　[Enter]
停止・再開キー　[5]
十字キー（上下左右キー）　[8] [2] [4] [6]
速さキー　[-]
取り消しキー　[Tab]
補助キー　[BS]
モード切り換えキー　[.]
ページ移動キー（前ページキー・次ページキー）　[9] [3]
ジャンプキー（前ジャンプキー・次ジャンプキー）　[7] [1]
表示切り換えキー　[0]
しおりキー　[/]
設定キー　[*]

よむべえスマイル 取扱説明書

2013 年 3 月版

株式会社アメディア

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上 1-15-6　第 10 秋山ビル 1 階

電話. 03-6915-8597　FAX. 03-3994-7177

http://www.amedia.co.jp/

よむべえスマイルホームページ: http://www.amedia.co.jp/product/ys/